京城日報

十六日夕刊

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金五拾錢（郵送料前金）三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金參圓　郵券代用二割增
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲場所指定一行金壹圓▲三號活字同二倍▲六號活字同樣の割
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯部二四番　營業部二一六番　振替口座京城三〇〇番

◎閑院宮殿下御參內

十五日午後八時三十分東京驛着汽車にて露國より歸京あらせられたる閑院宮載仁親王殿下には中島御附武官松井事務官を隨へさせられ十六日午前十時四十分御參內十一時　天皇陛下に御對面先づ御歸朝の御挨拶に次いで御使命を終らせられたる顛末並に露國皇帝陛下並に皇后陛下の御傳言を言上遊ばされたるに　陛下には一々御傾聽ありて遠路御苦勞に思召さるとの御沙汰を給はり殿下には一應御前退下後皇后陛下に御對面御使命終了の御挨拶を陳べさせられ尙參內中の寺內首相長谷川元帥等より御祝辭を受けさせられたり（東京特電）

◎總督親任式

十六日午前十時宮中御座所に於て寺內首相、鷹司侍從長侍立の上左の通り親任式を行はせられたり（東京特電）―號外再錄―

任朝鮮總督　元帥陸軍大將正二位勳一等功一級伯爵　長谷川好道

◎獨潜艇尙ほ米海游弋か

數隻の獨逸潜航艇は今尙ほ米國東海岸沖にありて運送船の來るを待ち構へつゝありとの說あり米國驅逐艦は米國の中立權を護衞しつゝあり（紐育電報）

◎羅王の露羅軍統帥

羅馬尼國王フェルヂナンドは親しく露羅聯合軍を統率すべき旨發表されたり（紐育電報）

◎希臘王黨の運動失敗

雅典來電に依れば、希臘軍は最近內地に於て運動を起せるが一箇師團をタトイの丘陵地に配置し同所に鐵條網を張り大砲の据付けをなせり此の運動は狂暴なる王黨の行へるものにして彼等は左の計畫を打ち明けたり卽ち若し聯合國にして飽迄希臘を壓迫して參戰せしむるか又は國王を強制してヴエニゼロス內閣を組織せしめんか國王は件の軍隊を率ひてテツサリーのトリカラに蒙塵し同地にて獨軍の到著を待ち之と共同して聯合軍を攻擊せんとしたるなり然るにフールネ提督が希臘に最後通牒を發せる結果失敗に歸せり（紐育電報）

◎聯合軍の雅典驛占領

雅典よりの來電に依れば聯合軍はラリサ鐵道線の雅典停車場を占領し以て軍需品搭載列車の出發を阻止せり野砲兵二個中隊ラリサ方面に向へり（紐育電報）

◎佛艦擊沈

●二隻獨艇の爲め●
佛國巡洋艦ガラオ及びリグル兩艦は十四日地中海に於て獨逸潜航艇の爲に擊沈せられ溺死者一千名に達せり（紐育電報）

◎副總統推薦

張勳は岑春煊を副總統に推薦せり（北京電報）

◎議會開期如何

第三十八帝國議會召集期は大正六年度豫算審議の關係上多分來十二月

二十五六日頃ならんとの說あり（東京電報）

◎新內閣と政友會

十五日政友會東北大會にて原總裁は寺內內閣に對しては嚴正中立を守り其政策に對し贊成す可きは贊成し反對す可きは反對す可き旨を聲言せり（東京電報）

◎政務局長更迭か

外務省政務局長小池張造氏は在支那公使館附大使館參事官に轉じ小幡酉吉氏政務局長となり入換となるべしと傳へらる（東京特電）

◎海軍將官會議

海軍將官會議は來る廿七日開催の筈（東京電報）

◎臺灣總督東上

安東臺灣總督黑井馬公要港部司令官の一行は十六日信濃丸にて門司經由東上せり（門司特電）

◎長谷川總督の就任

▼恩威兼備の好武人

鮮銀理事　三島太郎氏談

長谷川元帥を新總督に迎へ得た事は大慶歡ばしいと思ふ、予が日露戰後の明治三十八年第一銀行京城支店副支配人として來任した時元帥は韓國駐箚軍司令官の任に在り威望鷄林八道を壓して居た、其後保護條約が締結され軍隊解散等の事があり漸次帝國の勢力は半島に及んで來たが其の實効を擧ぐる上に同元帥の重きを爲せる勢力が與つて大なるは云ふ迄もない尤もそれ丈け朝鮮人の上下に恐がられてゐないでもなかつた、事實元帥は容貌魁偉長身頑健殆んど仁王の如き偉軀を持つてゐられるがさりとて元帥は武辨一徹の將軍でない、僕は少くも一銀行支店の副支配人として折々元帥の前に出たが終始溫顏厚情を以て接せられ常に元帥に對してゐると▲春風座間に湧く如き暖かき感情を起さずに居られなんだ、かうした反面の優しさを鮮人は知らないから徒らに將軍を怖がつてゐたのだらう、然し今回總督として來任され在勤久しきに亙らば自然元帥の溫情も了解され鮮人も心より悅服する事と思ふ、僕の觀た元帥は小事は兎に角政務を綜合大觀して常に適當の裁決を加へらるゝ事は僕の信じて疑はぬ所である、武人總督と云ふ事に就ては其の可否に幾多世論もあるやうだが植民地に於て國民の▲安寧秩序を持する上より見て統治の任に膺る人に威望を要する次第であつて、此意味より寺內總督の後任を現任陸海軍大將に需め其

▼好總督を迎ふるを欣ぶ

東拓理事　井上孝哉氏談

長谷川元帥は其の武人として重望四海を壓し且つ多年駐箚軍司令官として任に朝鮮にあり▲半島の事情に通せらるゝ最も適當なるべしと思ひ其の噂さの傳はりし時より就任を切望してゐた、實は途中で何等かの故障を生ぜしもの如く行惱みのやうに聞き甚だ遺憾と考へてゐたが今回其の親任を見朝鮮の爲めに眞によき總督を迎へた事を祝する、之れより寺內總督の確立された朝鮮の統治開發は▲愈々面目を革め進展すべく延いて滿蒙方面に帝國の威輝を愈々明らかにする事が出來やうと思ふ、元帥には私は一回もお會ひした事がない、然し元帥に昵近せる先輩や友人の話しを綜合すると威ありて猛からず三軍を叱咤する勇武の反面に溫情頗る掬すべきものがあると云ふ事である

▼內鮮の爲めに慶祝す

原田商業會議所會頭談

寺內伯が朝鮮總督の任を去り內閣を組織したる際某社の問に對しては同伯が多年經綸を行ひたる朝鮮に代りて總督たるべき人材に付ては▲必ずや適當なる後任者を推薦するなるべしと答へ置きたるが果せるかな本日宮中に於て元帥長谷川大將を朝鮮總督に御親任あらせられたり長谷川新任總督は曩に韓國駐箚軍司令官として在留し朝鮮上下の事情に精通せる人にして而かも前任總督とは親交ある間柄なれば從來寺內伯が培養し來りたる各種の施設方針に就ても其多くは之を踏襲し今迄に大なる變革あるべしとも思はれず斯くも歷代總督に其人を得たるは內鮮共に幸福とせざるべからず

◎代表者東上

新舊總督に挨拶の爲め子爵李容植氏は朝鮮貴族を韓相龍氏は實業家を趙鎭泰氏は民間を各代表し又李完用伯は個人として何れも寺內內閣の成立を慶祝し新首相に對して敬意を表すると共に總督在職時に於ける伯の功勞を感謝し且つ長谷川新總督に對して歡迎の意を表せんが爲め一同は十七日午後七時五十分南大門驛發汽車にて東上に決したり前記諸氏は十六日朝相携へて總督府に政務總監を訪問し其の旨を陳べて挨拶する處ありたり

◎石塚長官歸任

東拓總裁たる可き石塚農商工部長官は十五日夜歸任の豫定なりしも其の後都合に依りて旅程を變更し新に十六日夜下關着の旨途中隨行の小池局より總督府に電報あり南大門驛著歸任は十七日午後九時なる可し

◎宇佐美長官東上

內務部長官宇佐美勝夫氏は十六日午後七時五十分南大門驛發汽車にて東上の事となれり歸任期は要務の都合上確ならざるが今回は屬を伴はず全く單獨の出張なりと

◎野田副總裁歸京

五龍背に旅行中なりし東拓副總裁野田卯太郎氏は十六日午後七時三十分著列車にて歸京す

◎木村理事東上用向

木村鮮銀理事の東上用向は前總裁勝田主計氏大藏次官就任に付總裁の事務を受繼ぐ事並に東京支店の事務を監督する事にあり同支店長吉田節太郎氏渡英に付從つて其の滯京期は明年三月末頃に及ぶべし

◎足立丈治郎氏歸京

南鮮方面に出張中なりし足立丈治郎氏は急用出來十五日歸任せり

◎兼二浦線時間改正

兼二浦は元軍用鐵道時代の材料揚陸地點たりしと工場の設置せられし爲め殷賑を極めたるものなるが其後同工場の平壤に移轉さるゝや一時衰退の氣味ありしも近來三菱合資會社に於て製鐵所を同地に設けたる等の爲又復景氣挽回し繁榮日に加はるの狀態に在るを以て鐵道局は同線乘客の便を圖り左記の通り時間の改正を行ひ來る十一月一日より實施する由

兼二浦發後一、四二　黃州著後二、〇九
同　五、一〇　同　發後五、五五　平壤著七、一〇
黃州發同一、〇五　黃州著後一、三二
同　三、二五　同　三、五二

其他の各列車は從來通り運轉すと

◎調査局減員近し

平安南北咸鏡南北各道の測地作業に從事しゐたる臨時土地調査局測地外業の監査官書記技手以下は事業終了せし地方より追々引揚げ來れるが其の第一回の減員は月末迄に發表すべしと

◎實業教育調査會

實業教育制度調査委員會は十六日午後一時より第二會議室に於て開會せるが工業教育に關する調査は一段落を告げたるを以て今回よりは水產教育に關する調査事項に入れり

◎稻扱使用傳習會

京畿道にては例年の如く恩賜金稻扱傳習會を本月二十日より來月中旬迄の間に於て管內二十四箇所に開催することゝなりたるが此傳習に參加す可き講習人員は約一千百名にして傳習終了生に對しては稻扱器一個宛無償にて授與すべしと

◎三井植林許可

豫て三井合名會社より總督府に向け造林用の目的にて國有山野の貸附を出願しゐたる黃海道金川郡口耳面豬田山三百十四町歩は大正五年十月より十五年九月まで十箇年間貸付の許可あり

【平壤】

▲平南教育會　平南教育會は十五日午後四時より箕陽俱樂部に關野博士講演會を開き午後七時より武藏野に於て博士招待の晩餐會を催したり▲齋藤署長著任　平壤警察署長齋藤鐵三郎氏は十五日午後三時平壤驛著列車にて來任せり停車場には關口檢事正警務部長警察署員及び有志者等の出迎盛なりき▲平壤靑年會例會　平壤實業靑年會は十五日午前十一時より箕子廟前に於て運動會を兼ね秋期例會を催す筈なりしが生憎雨天なりし爲め實業靑年會樓上に於て開催したり此日集る者四十餘名大橋會長は會務の報告を爲し尙幹事長及び幹事二名の補缺選擧に移り大橋會長の指命にて富田晋二氏を幹事長に大鶴恭藏金川力松の兩氏を幹事に推選指名し其れより簡單なる酒宴を開き午後三時過散會せり當日は各會員五分間演說等の催しありて極めて盛會なりき▲平壤看手採用試驗　平壤監獄に於ては本月二十三日午前九時より鮮人看手採用試驗を執行すべく志願者は同監獄に志願書を提出すべしとなり

【仁川】

▲松元署長歸任　近島防疫視察の爲めに出張せし松元署長は十五日歸任の筈なりしも海上風暴れて浪荒く豫定の行動を執り得ざりしを以て十六日波靜まるを待つて歸任すべしと▲認可申請手續　朝鮮燐寸會社設立發起人奧田、田中、美濃谷、白神、高木、淺天日、和田、丁、張の十氏は十四日仁川俱樂部に於て正式に發起人會を開催したるが其結果十六日認可申請の手續を爲す事に決し同日府廳に提出したるが株の割當は前記發起人に於て三千五百株を引受け他の四千株は內地二千五百株は鮮內各地に於て募集すべく創立委員長は奧田氏と決せり▲火葬場閉鎖　虎疫猖獗の結果臨時急造せし新花水里火葬場は十七日限り閉鎖する事とせり

【大田】

▲棉收豫想　大田郡棉收は本年度十四萬斤にて普通なれば其六割位を取入れ居る時期なるに降雨長かりし爲め自然開花期後れ漸く昨今二割位いを取入れたり品質の如き自然一等品尠なき模樣なり然れ共農家賣收に至つては棉價昨年の約位なれば昨年より增收の見込なり▲輸穀激增　近來成穀期に入りたるを以て市場に現るゝもの日增に加はり隨て輸出激增し湖南農工銀行支店より千三百七十五叺外に百六十三叺計千五百三十八叺を出したるが價格は銀行渡し十一圓六十三錢乃至十一圓七十八錢所にて出來合ひ居れり今回の輸出は仁川仕向けなりと▲學生注射　大田尋常小學校にては昨今の冷氣にて虎疫の漸滅及び大田に侵入あるまじと樂觀し居るも大邱其他に流行しつゝあるを以て此際生徒中希望者に限り藥料のみにて注射する事に決したるが生徒中希望者多き模樣なり尙各開業醫鐵道病院に於ても注射應需の由▲協議會開會　演習に關し各區長及び協議員會を十三日組合會議室に開會し協議する所ありたり

【木浦】

▲銀行營業成績　木浦鮮銀支店先月の營業成績は現金預り高百〇一萬四千五百二十三圓拂戾九十九萬一千二百四十三圓月末現在百二十七萬八千七百八十九圓にして昨年の同期に比し三十四萬八千百圓を增し貸金は貸出四十五萬二千五百六十四圓月末現在七十三萬五百五十五圓昨年の同期に比すれば月末現在九萬八千五百二圓を增し手形は仕向二十七萬一千六十四圓被仕向高四十萬七千七百二十一圓昨年同期に比し仕向に於て二萬九千五十四圓を減じ被仕向に於て九萬四千二百四十八圓の增加なりと▲現物市場　其後木浦に穀物現物市場を設け標準相場を作製し取引の迅速圓滑を計るべしとは數年來の懸案にして曩に宮木道長官に當會議所より稟申したる旨既報せるが其後道廳に於ては諸種の方面より調査中の由なれども未だ具體的に進捗せざるを以て一兩日中道長官の當地通過を機とし親しく福田會頭より具陳する所あるべしと▲繰綿開始期　棉花共同販賣所は旣報の通り漸々開始しつゝあれど出廻り尙ほ僅少にして當地朝鮮、天平、木浦の三棉業會社の繰業は早くも本月下旬乃至十一月上旬より開始すべしと▲棉作記念委員會　棉作十周記念式擧行期日其他協議の爲め公會堂に於て近く同委員會を開催すべし▲前田判事轉任　當支廳判事前田英一氏は大邱地方法院判事に榮轉せり後任は大邱より玉名友彥氏來任すべし

【光州】

▲入光軍隊出發　大隊教練の爲め入光中なりし海南茂長金州の三個中隊及び光州中隊は愈々十一日迄にて大隊教練及び第三期檢閱終りたるを以て十二日は休憩し十三日午前八時伊藤大隊長指揮の下に隊伍を整へ潭陽街道より全州方面へ出で大田に向ひ第四十旅團の秋期演習に參加すべく出發せしが見送りの官民千數百名に達したり▲棉花出廻り遲る　夏より天候不順の爲め成育を妨げられたる棉花は秋の開絮期に入り天候恢復し稍見直したるも又々惡天又は雨天の爲め開絮充分ならず例年十月上旬には相當の出廻り在りて下旬より十一月に掛けては出廻りの最盛期なるに本年は既に中旬に入れるに不拘尙ほ出廻り尠なく觀測する所に例れば目下漸く開絮中のもの多く爲めに例年より廿日間を遲れ相當出廻りを見るは十月下旬なるべしと▲全北棉花視察團　全北任實郡金提郡の各棉花及び農事視察團は何れも來る十六日一齊に入光各所視察の筈なり▲中山覆審法院長は十七日全州群山を經て來光十八九兩日滯在の上廿日井邑支廳を巡視して歸任の途に就くべしと▲金久保旅團長　入光中の大邱第四十旅團長金久保少將副官中大尉は十一日朝出發歸任せり▲安原聯隊長　檢閱の爲め入光中十一日正午發歸郞の途に就きたり▲光州木浦庭球試合　光州日報主催にて來る十七日光木庭球試合を行ふ筈にて既に光木土地の打合も終り非常なる前景氣を以て迎へられつゝあり

人事往來

▲篠原文一氏（水產技師）二十二日より江原道蔚珍郡へ出張の筈
▲本岡祭次郎氏（事務官）林政に關する調査の爲め京畿道水原に出張中なり
▲林權和作氏（北京實業商）十五日夜入京天眞樓へ
▲藤田臣直氏（旭硝子會社重役）同上
▲阿部節氏（鑛業家）同上
▲吉尾佐市氏（久原鑛業會社々員）同上
▲田所耕耘氏（滿鐵社員）十五日夜入京浦尾旅館へ
▲篠一以氏（司法官）十五日夜入京東京旅館へ
▲チャホンスド氏夫妻（米人）▲プライザー氏（英人）▲ガルドプラウト氏▲デアー氏（以上米人）十七日朝退京

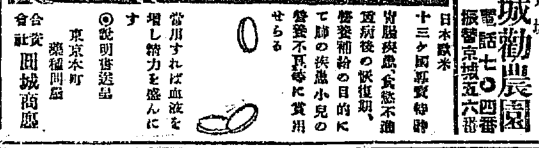
◎號外發行

十六日午前『總督親任式』の號外を發行して京城龍山の外永登浦仁川の兩地に配布せり

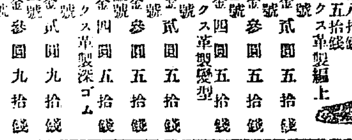
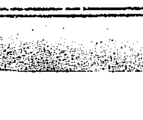
配當案公告
金田春吉破產事件ニ付大正五年十月十二日破產管財人辰市本九ノ作成シタル配當案ハ之ヲ認可シ公衆ノ展閱ニ供スル爲メ當法院ニ備置ク
右公告ス
大正五年十月十四日
京城地方法院

FAMILY HOTEL
ファミリーホテル
客室　食堂　完備
市內四通八達の場所　土地高燥　眺望絕佳、庭園廣く閑靜の地　佛蘭西料理調進
食料は特に御便利に取計可申候
ミセス、ボーエル改
京城南大門通三　電話一二一八番

朝鮮咸從特產
甘味無双　平壤栗
しぶかわ知らず
種子　苗木　農具
朝鮮京城　京城勸農園
電話七〇四番　振替京城五六番

胃腸最新藥


日本歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸爽快、食慾不進、熱病後の恢復期、營養補給の目的にて肺の疾患小兒の發育不良等に實用せらる
常用すれば血液を增し精力を盛んにす
◎說明書進呈
東京本町　藥種問屋　合資會社　岡城商店

信用ある東京三金の特賣
ボックス製長靴
長サ一尺三寸金四圓八拾錢　一尺五寸金五圓五拾錢


ボックス革製編上　第一號金貳圓五拾錢　第二號金參圓五拾錢　第三號金四圓五拾錢
ボックス革製變型　第一號金貳圓五拾錢　第二號金參圓五拾錢　第三號金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム　第一號金貳圓九拾錢　第二號金參圓九拾錢　第三號金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適なり
▽御注文の節は種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包（送料實費）にて送附す
最新目錄無代進呈
東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店
電話芝一六九〇番　振替東京一七一三〇番

●嚴しい中に籠る優しさ 春風駘蕩の新總督

朝は三時頃から起きて讀書=下々に思ひ遣りが深くて優しい=坂道へ懸ると俥夫のために車を下りる=お好きなのは琵琶の曲『明智左馬之介湖水渡り』=洋食よりは日本食=撞球はその頃百五十點

長谷川新總督が在鮮四箇年間官邸の厨房長をしてゐた本町二丁目のカフエーエビスの主人は愈々長谷川閣下がお入でになりますさうで――いかにも嬉しさうに語る、『あの當時は官邸の方にはお客が隨分ありまして夜の二時三時まで起きておいでのこともムいましたが

▽朝のお目覺め は非常に早く夏分ですと三時半四時頃にはお起きになつて讀書散歩などをされると云ふ風でした、閣下が下の者に對して優しくされた事は格別で私共が病氣などをして寢込んで居りますと御自身態々吾々の部屋までお見舞下すつて厚いお言葉をいたゞいた位でそれが誰に對してもさうであります又官邸に訪ねて來た方にも上下貴賤となく面接され些し位御病氣の時でも應接されたやうでした、外見は非常に怖く朝鮮の大官などが見ゑても最初は面を合せる事もできなかつたさうですが實際は

▽萬事に優しく 車に乘ておいでの時でも少し坂路へでも差懸ると『降りて遣らう』と徒歩で進まれた位で、子供なども長谷川さんのお通りといふと道々お辭儀をした程なのでした、趣味と申しては琵琶撞球などで玉は八九十點お撞きになり百四五十撞かれた山口副官や私共がよくお相手をしたものです、琵琶も非常に熱心で、當時隊の方に一等卒で鈴木――今高峰筑風といつてる――といふ琵琶の名人が居りましたのでそれを先生にしてお習ひになつたのですが曲の内では明智左馬之介の湖水渡りが

▽最もお好きで 鈴木にも唄はせ御自分でも夕食の時御酒を飲がつて御機嫌のいゝ時などお歌ひになつて吾々にまで聽かして下すつたのでした鈴木に湖水渡を唄はせて興が乘つてくると著ておいでになつた紋付の羽織などを投げて與るといふ風に御熱心だつたのです、召上るものは洋食よりは日本食が、お嗜きで宴會なども多く日本料理、日本料理を却々

▽凝つた御誂文 が多く、地方へ旅行される時などは私共は乾度お供をしたものです、宿屋へ著かれても藝者や女中などは餘りお近づけに爲らず大抵傍の者がお世話を申したのです要するに私共から見た閣下は高貴の方には珍らしい平民的な方であつたのです』

▼何處へ行つても人氣のいゝ方

元帥は以前伊藤統監の時代に朝鮮駐箚軍司令官として居られましたから朝鮮のことも克く解り内鮮人共

■非常に幸な こと、思ひます軍司令官時代の元帥に就ては罪の無い逸話も尠なくない方ですが酒席にかけると元帥は實に春風駘蕩なる裡にも嚴さした威嚴を失はぬといふ風で兎に角大きなところがありました、彼の伊藤公の統監時代には公の留守中は統監代理となられ毎日時間を嚴守して統監府に臨まれたものです元帥の朝鮮に遺されたものでは彼の宏壯な龍山の總督官邸も其の一つでありますがあれは元帥が司令官

■官邸として 建造されましたけれども御自分には一度もお住ひなしに内地へ歸られることとなりました其の他明治四十年の頃朝鮮全道の山間僻地に至るまで蜘蛛の巣の

やうに電信線を引かれた のも元帥の手になつた仕事です、また元帥は武斷一方の軍人のやうに思はれて居りますがあれで何うして殖産興業の途にも

■熱心な方で 軍司令官時代には水原の模範場あたりでなかく熱心に調査して居られました又元帥の演説は伊藤公より上手で實に堂々たるものでした、兎に角清濁併せ呑む大度量の人で何處に行かれても不思議に人氣のよい人のやうです(某氏談)

長谷川總督の書

●鼠疫 仁川警戒

三重縣四日市にペスト流行し益々蔓延の兆あるより隈部警務部長は仁川警察署に向け此際特に同港と關係ある日本郵船會社汽船三河丸、相模丸高砂丸の乘客及び乘組員に對して嚴重に健康診斷をなすと共に鼠の驅除揚陸貨物等に注意し防疫上遺算無きを期す可き旨命令を發したるが仁川警察署にては直ちに捕鼠の獎勵に努め且つ前記諸船舶は勿論四日市に寄港したる諸船舶に對しては最も嚴重なる檢疫をなす可しと(仁川支局)

濃霧を衝いて南軍の逆襲 寒威猛烈にして士氣益々熾也

十四日夜范家屯にて 勝村特派員

▼雨中の對戰 十四日、昨日の戰鬪に利あらず平頂山高地より退却せる佐藤少將の南軍は途中霖雨に遭ひ滿洲名物の泥海に踏入り人馬、砲車進むを得ず加ふるに北軍の追躡甚だ急なりしも勇敢なる其援衛部隊は敵の急迫を防禦し夜に入りて漸く劉房子の南方に達し露營せり北軍も亦夜に入りて追擊を止め劉房子村落北方に露營せり然るに同夜南軍は有力なる味方の增援軍の來著を得直ちに攻勢に轉ぜんとし佐藤司令官は十一聯隊を右翼とし歩兵五十四聯隊機關銃隊一小隊を左翼とし砲兵大隊を劉房子西方高地騎兵中隊を祝家屯及び馬小店に配備し自ら歩兵一個大隊機關銃一小隊工兵一個中隊より成る豫備隊を引率し增援軍の主力を後方諸豫備隊と假定し黎明を待ちて前進を開始せんとす此の時北軍の第一線は南軍の第一線を距る半里なる三下路理、胡家屯に在る小流の線に進擊を休止して露營し午後九時三十分司令官松浦少將は十四日拂曉前面の敵を攻擊せんとし歩兵第六十三聯隊は午前五時迄に于家窩棚北方十家路より三下路西端に亘る間に展開し騎兵中隊は三下路理の方向より敵の側背を脅威すべく砲兵大隊は軍の司令部東方高地に陣地を占領し天明と共に射擊を開始すべく歩兵第六十五聯隊第三大隊及び工兵中隊は豫備隊となり本道東側水流、渡河點南側に集合すべく其他諸隊の命を待ち南北共に雨に濡れて天明を待つ

▼南軍攻勢に轉ず 記者は午前五時劉房子驛を出發して先づ南軍の砲兵陣地を觀察す此より前午前三時頃雨全く晴れ西北の寒風凛然として肌に沁み渡るを覺ね前夜は脛を沒する程の泥濘の道路も固く凍結し滿地の霜深くして雪の如し軈て先づ一發の砲聲は陸家屯東南高地に在る北軍の砲兵陣地より轟き渡り續いて北軍の各部隊は一時に其の露營地を躍進す有力なる增援軍を得たる南軍も亦怱ち之れに應じて其の陣地を進出し砲兵及び機關銃隊の有力なる掩護の下に忽ち攻勢に轉じ刻々に北軍の各部隊を壓迫す南軍の砲兵は或は敵の砲兵陣地及び歩兵を猛射し南軍の歩兵は于家窩棚北方十家路より停車場の間に亘り砲銃の響非常なる許りなり川村元帥は公主嶺より午前四時十五分來著于家窩棚南方高地に於て上野統監以下の將星と共に觀戰し支那觀戰武官は一團となり各方面に馬を走らせて觀戰せり

▼北軍主力の突擊 此の間に於て北軍は漸次南軍の陣地に迫り其の騎兵は先づ南軍の騎兵と三下路理に於て衝突して北方に退却せり午前八時十分北軍の右翼は益々進み千百米突より突擊に移り直ちに南軍の左翼を突破し其の中央軍の左方より急襲して敵を殲滅せんと企て主力を以て突貫したるも南軍の備へ嚴として動かず其の砲兵及機關銃隊の猛射に遭ひ多大の損害を蒙りて容易に進む事能はず此の時西北の烈風と共に濃霧俄かに襲ひ來り咫尺を辨ぜず、斯くて十五六間の先きを辨ずる事能はず、機として全線同時に攻勢を取らんと企てありたる南軍は此の濃霧の襲來を機として全線同時に陣地を出でゝ突擊に移る霧天日を蔽ひ咫尺を辨ぜざる中に凄愴なる一大血戰は演出せられたり幻の如く馳せ交ふ人馬、潮の如く湧きては押せ來る豫備隊衛生隊の活動

▼元帥の賞讃 此の戰鬪中川村元帥は絕えず南軍の機關銃隊の傍に在り最も注意深く其の射擊を觀たる上休戰後元帥は其の功果の偉大なりしを大いに賞揚せり午前十一時頃霧少しく晴れたるも寒氣益々烈しく寒暖計は零度以下二度を示したり午前十一時、北軍は遂に攻擊を斷念して漸次退却を始め其の一部は鐵道線路に沿ひ一部は周家窩房東八大泉眼二家子方面に退却しつゝ收容掩護射擊を行ひしも南軍の追擊益々急にして十數回の收容戰を行ひ北軍は[illegible]十四日午後九時頃其本隊は范家屯附近新開河の線にて際群せり此の間南杜家窩棚を經て[illegible]之道路は雨後の氷解けて泥濘甚だしく其の砲車の如きは車輪全く泥土にて包まれ[illegible]す大小行李の運搬に困難を極め[illegible]夜來の寒氣と疲勞の爲め多數の落伍者を出すに至りたるも巧みに之れを收容し一大決戰を試みんとしつゝあり南軍は北軍に並行し[illegible]に止まりて十五日黎明を待つ(十四日夜)

□十七師團長春攻擊 支那兵營附近にて工兵大爆破演習

―十六日午前十時本社特派員范家屯發電―

十七師團は十六日より假設敵演習に移る其編成は昨十五日迄の旅團對抗演習の組立を繼續し十六日午前五時より師團は大屯附近の宿營を發し孟家屯附近の敵を攻擊し十七日拂曉より長春城を攻擊し猛烈なる市街戰を行へる後之を陷落せしめ支那兵營附近に於て工兵の大爆破演習を行ふ筈なり又十七日には支那及び露國文武官多數を招待して觀戰せしむる豫定なり十六日空快く晴れ士氣頗る旺盛なり

●帆船難破 十八名行衛不明

十三日午前十時頃帆船幸神丸(二百石積)は全羅南道荏子島附近に於て逆浪に乘揚げ轉覆せりとの報に接し恰も同方面へ出動中の警備船木浦警察署[illegible]丸は直ちに現場に急行し乘組員及び乘客中八名を救助せるも猶十八名行衛不明なれば引續き搜索中なりと(木浦特電)

●大猪を撲殺す 肉の分配から大爭ひ

十三日午後五時頃大田大神宮裏手道かの山上より一頭の大猪現はれしを附近の鮮人が發見し追跡中内地人も之れに加はり其勢四五十人となつて八方に追ひ廻はせし爲め猪も氣力衰へ蘇堤湖の溝に倒れしかば皆得物にて撲殺せしが其分配に付て日鮮人間に紛爭を生じ結局大田警察署に猪を持參し分配を乞ひたるを以て二分して内鮮人に與へたり猪は三十餘貫あり近來の逸物なりと(大田)

コレラ彙報

▲陰性二名 京城北米倉町居住金光根(三)といふ精神病者は虎疫の疑ひあり十五日午前本町署にて消毒の上順化院に送り採便檢鏡の結果十六日陰性と決定したるを以て警戒を解除したり尙蛤洞李夏榮子爵邸下人朴鳳植(五)も十六日陰性と判明す

▲注意患者 京城舟橋町居住廣田良作妻みちよ(三)は十五日午後九時より數回の吐瀉をなしたるを以て同日夜半注意患者として順化院に收容し患家の消毒附近の隔離をなせり

從軍日記 (南滿に於ける大演習を觀る關東都督府の十七師團に從て)

勝村長城

□十三日(つゞく) 午後三時頃から降り出した雨は夜に入つてから激雨と成つた、身に沁みるやうな寒氣が夜と共に深く成つて來る、お負けに大行李が泥濘の爲め途を失つて午後十一時頃まで到著しないので

▲毛布の配給 がまだ來ない、自分は九時半頃から十時半頃まで露營地を一巡して來た爲めに、外套はビシヨ濡れ膝から下は泥塗れに成つた裸に成つて携帶の毛布を自體に巻き付けて濡れ外套をストーブの傍に吊るして其下へ蠟燭を點けて今日の記錄の筆を執る兵隊さん達が勤務交代の前に這入つて來てストーブに暖まつて行く、『まだ夕飯前ですから藥へ(そうです)』と口もよく廻らぬ唇の色は紫色だ驛長から貰つた卵や牛肉などを分配してやつたりした、十一時半頃に成つて雨は益々強く其の内にストーブの烟突から雨が降込んで火は消ゑて終ふ、これぢや

南京虫位に喰れたつて支那宿の方が好かつた と思つた自分は服を濡して終つたのでとても毛布一枚でアンペラの上へ腹る譯に行かぬと思つて十二時半の汽車で公主嶺へ行つて驛の食堂の二階へ泊つた、公主嶺は劉房子驛の南方六哩ばかり汽車で十五分ばかりかゝる何んでも驛に殘つた二三人の記者は寒くて夜中眠れなかつたそうだ『蠅藥板まで引被つて寢た』と話して居つた筆まで暖かであつたから皆な油斷して居つたのだ、此の頃の滿洲の氣候は斯んな風に激變するのが例に成つて居ると云ふ事だ

□十四日 今朝は拂曉戰が有るので四時頃までには劉房子に歸つて居らねばならぬ、宿のお女將さんに頼んで置くとまだ眠り付いたばかりだのにもう『四時ですよ』と起された、プラツトホームに出て見ると雨は止んで寒さが甚い、公主嶺に泊つて居る川村元帥も中村關東都督と共に又この汽車に乘つて劉房子に行く爲め停車場に出て居られた自分は毛布卷きの姿で列車の隅へ乘つて劉房子に著き直ちに結束して南軍の砲兵陣地へ行つて見ると兵士達は眞白に氷つた高粱稈を集めて

▲砲の隱蔽垣 を造つて居る『冷めたいだらう』と云ふと『何に雨よりいゝです』と外套の氷つたやつを落て『カチ〳〵』云はせて見せる寒いのも道理である此の朝は零下二度と云ふ低溫だそれから南北は直ぐ始まつた其の内に深い霧が降りて咫尺を辨せぬ程に成つた、午前十時南北攻防に轉じ北軍退却して 今晩再び范家屯附近に兩軍が 露營するとの事であるから途中の追擊戰を見ながら午前十一時の列車で再び范家屯へ引返す范家屯は劉房子の北方十二哩にあり途中に驛家屯と云ふ驛が新設され目下建築中である(十四日未完)

●名物藥水の封鎖

京城名物の一なる西大門監獄裏山の藥水は十一日高陽郡東幕の虎疫患者來りて飲用し藥水の邊りに多量の吐瀉をなしゐたりしこと判明せり、該藥水は下痢症等には效果ある由なるも何分コレラ患者の吐瀉物が流れ込みし形跡ありて甚だ危險なるを以て鍾路警察署にては十四日藥水の湧き口にセメント及び巨石を埋め嚴重に封鎖しコレラの終熄する迄一切の飲用を嚴禁したり

川村元帥の觀戰=(上)=(十四日劉房子にて右より關東都督府參謀長田村騎兵大佐、川村元帥、元帥の後は十七師團參謀長上田歩兵大佐、旅順要塞司令官白井少將、白井少將の横は滿洲獨立守備隊長福原少將)露支武官の見學及記者團(下)

讀者文藝 (一等には五十錢の新刊券を呈す)

川柳 『氣』

○取卷きは氣前を褒て絞取る(一等) 京城蓬萊洞 大島紫流
▲氣に懸る運動會の空模樣 京城 東海
▲財布が開いて許婚氣に入らず 龍山 南魚子
▲氣に障るは隣り座敷の話し聲 龍山 夢乃家但人
▲短氣性持つて損氣が附纏ひ 京城柳田新八
▲色男氣取る程には持てぬなり 義州 松月

●疑似發生と魚市場 既報の如く元山府内を根據とせる山[illegible]署にては警察醫をして同人の排泄物の檢査をなさしめたるに疑似虎列拉[illegible]れり而して同船乘組員外三名は本船と共に葛麻檢疫所に收容し應急消毒[illegible]

[illegible]一時過京城永樂町一丁目商品陳列館前の入口路上にて現金四十九圓三十[illegible]

●連絡艇上陸客 十五日朝釜山入港壹岐丸二等客[illegible]

讀者文藝課題及び募集規程

■課題 △川柳は『美しい物』[illegible]

■募集規程 △用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事△締切[illegible]

天氣

▲十月十七日 晴り時々曇り (十六日午後六時發表)

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、一二	四、三七	七、二八

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部
電話 [illegible]

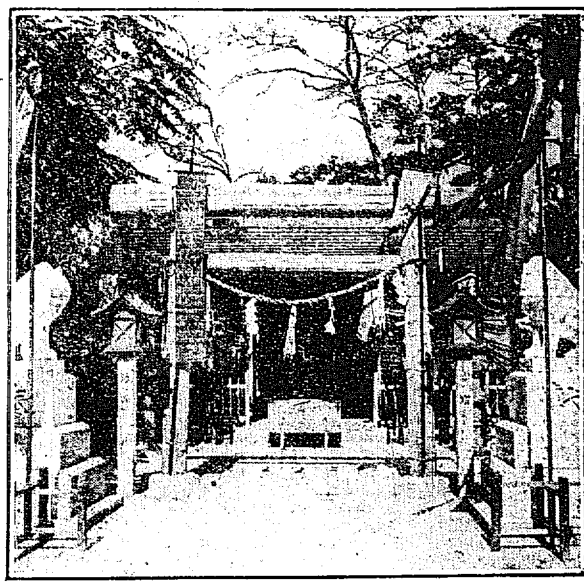
再製鹽製造販賣
關東洲鹽青島鹽直輸入販賣
大日本鹽業株式會社總代理店
同 仁川府本町二丁目四番地 合名會社鈴木商店仁川出張所 電話長八三番 受信略號(ジンセン、カネタツ) 發信略號タツ又はタ
同 釜山府本町二丁目 合名會社鈴木商店釜山出張所 電話長七六一番 受信略號(フサン、カネタツ) 發信略號タツ又はタ
原鹽再製鹽共常に多大の貯藏有之候に付如何に多數の御注文と雖ども都て充分なる安價を以て貴需に應じ可申候間多少に拘らず續々御注文仰付被下度奉希上候

ゴム外套地 ●防水布雨着 其他雨具一式
東京市京橋區南横町 防水布雨着問屋 福田豐三郎商店
電話京三七九三振東八〇四五 見本附定價表無代進呈

保險金領收廣告
一金壹千圓也
右は日清生命保險株式會社と契約致居候被保險者日生虎三郎昨年三月死亡に付今般保險金の支拂を受け候
茲に同社の確實にして懇切なる事を謹告候也
大正五年十月十四日
京畿道永平邑内 日生虎三郎妻

吉田學明
京城本町三丁目
人事百般鑑定需應す
鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓
鑑定時間 自午前九時 至午後十時
大日本陰陽學會朝鮮支部

秋の家庭には唯一の精力增進劑
純人蔘精腦を必要とす
定價 一十日分 三十日分 一圓七十錢 六十日分 九十日分 三圓二十錢 四圓五十錢
本劑の奏効絕對に確實なるを普及するため當分定價の二割引を以て提供す
京城府長谷川町五八 朝鮮製藥專賣所 振替口座京城三八一〇番



宵祭りの京城神社——十六日午後七時より

活氣漲つた市中
樂しい秋の祭を祝ふ思ひ〱の趣向

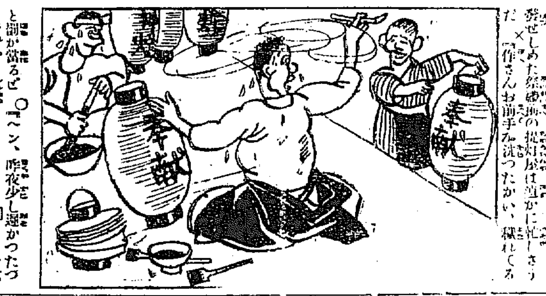
長谷川元帥朝鮮總督親任式の本紙の號外が鈴の音勇ましく市中にバラ撒かれた十六日の朝車を驅つてお祭の▲前景氣を觀て 歩く南山町邊り藝妓の置屋から本町近邊の商店まで『長谷川さんが總督になつた』と新總督の決まつた歡びの言葉が到る所で聞かれる、辻から辻へ流れ込んでゆく號外配りの鈴の音につれて市中は素晴らしい活氣が漲ぎる本町筋では軒先きに櫻の花の軒飾りを出し南大門通り、黃金町、永樂町、明治町、南山町、大和町、旭町邊りも各町裝飾に忙がしい京城神社では神殿前には▲幔幕、旗など 立てられ、社務所の後の廣場には奉納の角力場も設らへられてある、係員は神殿の飾り付に取りかゝつてゐる、參詣人も朝の內からボツ〱あつて、本願寺前邊から一間おきに吊るされた奉納の新らしい提灯が風に搖れるのがいかにもお祭りの近づいた事を思はせる、十六日の晩は角力の外に藝妓の手踊りがある筈であつたが都合で止めになつてその代り武德館連中の擊劍劍舞がある筈である

●恩賜機業場展覽會 京城恩賜機業場（昌德宮正門横手）にては來る二十二日午前十時より五時迄受產工女の製作になれる機業製品約三千五百反の展覽會を催し陳列品は全部當日卽賣することゝなりたり同場の製品は受產工女が機業練習のため製作したるものなれども熟練せる教師によりて質地指導を受け機織せるものなれば品質優良にして價格は一般市價に比し頗る低廉なり今回出品のものは內地人向普通衣服用五百反布團川六十反、羽二重百反、朝鮮人向一千五百反ある由にて普く一般の購買を希望し居れり尚當日は山縣政務總監始め其他朝野の知名士數十名を招待すべし

年々盛んになる京城神社の祭り
今年の秋から全く氏子の手でする

鎭守樣に氏詣りして育つて來た日本人には氏神樣と云ふことが普通一般の神や佛と云ふものとは一種異なつた意味で何百年來の國民性となつて養成されて來た併し朝鮮では遺憾ながら此日本人固有の氣分を味ふ機會はあまり無かつたが今度朝鮮神社の御造營も決定するし又吾京城神社も本年からは純然たる氏子の經營となつて今後益發展しようと云ふとになつて來たことは誠に喜ばしいことである分けても京城神社の如きは內鮮人共に同一の氏子となつて崇敬しようと云ふのであるからして日鮮同化の上から云つても內地の神社とは一種異なつた意味を有して居る自分が當社に奉仕することゝなつてから數年間の經驗によつて見ても一日十五日又は其他の日に參詣する者の數が多くなつて來たことは事實である此上とも叶ふものならば一層神社と氏子との關係を密接にすることが出來內地の鎭守樣と氏子の樣な關係になりたい西洋人が植民するに當つて敎會と墓地とを第一に造る如くに日本人の在る所必ず神社の在るやうなことにしたいと思ふ（谷村京城神社宮司談）

●財布を拾ふ 十四日午前十[illegible]署に照合すべし



[illegible]と御か當るぜ』○『ヘン、昨夜少し遲かつたつて虎列拉と親類ぢやあるまいし』『オイ小僧横町の米やさんへ持つて行きれ』『お吊りになつて未だ乾いてゐませんぜ』△『親方だや自然に乾きますずて云や好いやナ』（十六日の朝）

◆お祭り 提灯屋の大當り [illegible]竿丈け手が回ると好いがナア』と呼聲を發せしめた祭禮前の提灯屋は時ならぬ忙しさう[illegible]作さんお前手が洗つたかい、[illegible]

神社とお寺と教會

○妙心寺（長沙洞） 十六日午後一時半より觀音講ありたり
○西本願寺（若草町） 十六日午後七時より日曜講演あり三浦、光岡兩留學生の講話あり猶ほ十七日午後七時より明如上人の御逮夜說敎あり

▲あなご冬瓜卷き あなごをさきて塵水にて洗ひ揚げて置き冬瓜を二寸位の丈に切りて卷紙の如くろく〱まはしながらむき煮立つ湯に入れて半湯煮して水にとりそれを廣げて四五寸に切り其中に前のあなごを丈だけに切りて入れ端よりまきて中程を乾瓢にて結び酢醤油をさしてあじなつけ汁共に深皿に盛る（青木はつ子）

●電車に觸る 十五日午前十一時五十分頃京城電氣會社の龍山行七十三號電車が鍾路二丁目を進行中杏村洞李敦億（二）が線路を横切り僞に觸れて頭部顔面に治療十日を要する手傷を負ひ鍾路一丁目共愛堂醫院にて手當を受く

●蠅買上の抽籤 既報の如く仁川警察署にては十六日午前十時より蠅買上の抽籤を中川警察部以下警官朝鮮京日兩新聞記者等十數名立會の上行ひたるが當籤番號左の如し
（一等）四〇四七、三九七四、一四八八、一七二三
（二等）二七四九、二三九三、六四九、一四一三、六七九
（三等）三八五〇、四〇三八、二九三三、一九二、一三八三六、九四三、一三九七、
（四等）三七〇一、三五七五、二五六〇、二三一一、九二七四二、二〇四五、七五、三九三九、三三、五八八、一八九、二六〇、三八〇、八八三、一八三三、二三四八

銘仙はおぬや 京城本町 電話八九〇番

商況

東京公債直取引（特電） 十六日出値段（前日との比較）

五分利特別	九八、一〇
五分利甲號	八三、一〇〇
四分利	七二、一〇〇
一回四分	九七、九〇〇

深川在米特電 十六日現在高

朝鮮米	一六、七〇六
地廻米	九二、九四九
內地米	二二、五八六

東京債券現物特電 十四日出來値段（前日との比較）[illegible]

東京期米特電 十六日前場

	十二月限
寄付	四一、五〇
高値	四一、六三
安値	四一、五〇
引け	四一、六三

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 十四日後場 [illegible]

●關東製粉の近況 本年は値頃の好きに多少早刈りの關係もあり早稻中稻の間に出廻り途切れを見ざるべき模樣なりと[illegible]輸出の頭强と原料の頭强とに因つて緊張したる小麥粉市場は大手筋の買進みにて取引日々二三萬袋の盛況を告げ人氣一段と引締り期當限の二圓四十六錢十二限の五十二錢三厘の五十五錢買人氣ながら兎角先限の買煽りは傾向あり併し當限の喰合は可也多額に上り居るを以て一般に警戒を怠らざれど昨今の原料相場より算すれば二圓六十錢以上を以てせざるに於ては製粉は引合ひ難きの狀態なるを以て期近物も或は意外の波瀾を見るやも測らざるべし要するに市場の變化は原料小麥の向背に因つて定まる所なるが産地にては倉庫關係にて小麥の出荷を倫儀なくせらるべしと稱する向もあれど米價刺合に切締り居るを以て寧ろ米を食用して小麥に思惑せんとするの風潮が生じ居れば安値は一寸望み難かるべく之が爲め小麥粉も原料高に擧肘せられて底強を失はざるが如し

●新貫綿は下押す 本品は漸く最需要期に入りたるが産地保原の建市は相變らず出貫之に伴はず漸く例年の半數に達する位なれば各方面にて全力を傾注し其の出廻りを待ちつゝあり[illegible]

●精白ザリ安 [illegible]十錢乃至十五圓十四圓九[illegible]

●生果と松茸 [illegible]

京城雜穀 [illegible]

仁川現物市場 [illegible]

釜山穀物市場 十五日 [illegible]

生魚市場 [illegible]

仁川期米

▲十六日前場 大阪暗天十[illegible] 四圓八十七錢と一[illegible]

昨止り四錢高[illegible]

京城正米 [illegible]

南大門の廻穀

十五日分	
鳥致院白	八一叺
水原白米	五一叺
天安白米	四〇叺
鳥山白米	一〇叺
天安白米	四二叺
平澤白米	二三叺
鳥山胡麻	一〇叺
金泉玄米	二〇三叺
平泉胡麻	一〇二叺
鳥山胡麻	九叺
平泉大麥	五九叺
鳥致院白	五四叺

▲大阪三節九十錢 [illegible]

●更に六十五錢と安値 [illegible]

雁賓 仁川港濱町 取引所仲買人 迅速 マ 廣澤正太郎

市場零聞

▲相場逆行す [illegible]

▲買方見送り [illegible] 大阪と逆行するに至れり

乾物小賣相場 [illegible]

小賣白米
現金賣 一等白米 十六錢 次白 十五錢五厘

仁川米豆取引所
十六日の十一月限 四圓內外の大下

▲賣氣益旺盛 [illegible]

▲大下鞘を叩く 三圓二十七錢 [illegible]

北濱だより [illegible]

▲東洋汽船株 [illegible]

〈演藝案內〉

浪花館 明治町 電話二六〇 [illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番 十六日の狂言 前 天保水滸傳 嵐山花五郎 中 艶姿女舞衣 酒やの段 切 壇狗仙嫩軍記 一の谷より陣やまで

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 [illegible]

御成座 御成町 電話一九一 前 江戸賀々見山故郷錦繪 大序より敵討迄 切 鬼一法眼三略卷 [illegible]

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約 [illegible]

黃金館 電話二八五二（階上）一六三七（階下）[illegible]

十二指腸蟲病 大邱府東城町 水田藥院 電話四六三番 說明書は往復葉書にて申込次第進呈

大阪唐物町四飯田商店 M EP 品質本位 マツリ

御內意により謹製したる 美顏洗粉

◈高貴方の御不自由
皆樣御承知の歐洲の戰亂が長びいて、舶來品輸入の途が塞りました に就て、其向々でお困りの方が少くありません。中にも化粧品が來なくなつたのには不便を感ぜられる方が多く、殊に高貴の方々は從來大概西洋品をお用ひになつたので、御不自由もまた一通りでありませんでしたが、內國製品使用獎勵の聲が起つてから、先づ上の方から其れを御實行のお積りで、段々と御檢査の後、日本製品の中で優良なものも現れましたのは大に喜ぶべき事ですが、中には未だ思はしくないものも御座います。

◈有難き御內意
中にも洗粉に就ては、隨分品質の良い品が無くはないやうですが、未だ充分高貴方の思召に適はぬものか、或筋から弊館へ誠に有難い御內意を傳達されました。其れは完全な硏究の機關のある美顏白粉本舖で、これならと思ふ自信のある洗粉を新製しては如何かといふ御注文の意味の籠つた御內意です弊館では意外な光榮に感激して進んで御受しましたが、從來の洗粉と大同小異の品を製へたのでは、新製の意義も價値もありませんから、兎に角相當な御猶豫を願つておきまして、硏究試驗部に於て、顧問丹波山本二博士、主任技師桃谷、小磯、齋藤の三藥學士の智識を搾り、苦心硏究數箇月、にして漸う是れならばと自信のある洗粉が出來上がりましたので、早速御試用を願ひましたところ、幸ひにも非常にお氣に召されたので、其後引續き御誂へに應じて調製して居りました其洗粉を、此度愈々廣く世に發賣する事に致したのがこの美顏洗粉なのです。

◈美容術大家ルウヰズ孃
今、東京で、始終高貴の方々の美顏術と御化粧方とに召される名譽ある美容術大家マリー、ルウヰズ孃は、故國佛蘭西の巴里美顏術學校を卒業して日本へ來られ、其科學的智識と天才的技術とを以て、次第に高貴の方々を始め貴婦人紳士の間に御信用を博した方ですが、此方も高貴方の御用を勤めるについて、美顏術上の特殊な材料はそれ〱御自分で調劑されますが、一般の化粧品をお用ひの段になりますと、矢張輸入社絕以來日本製品の中に適當な品の無いのに困つて居られたのですが、美顏洗粉が高貴方に召されてからは、先づ洗粉は是れで助かつたと賞美せられそれからは弊館へお誂へになつて美顏術に美顏洗粉を用ひて居られます。

◈何處が違ふか？
美顏洗粉は從來の洗粉と違ひ、皮膚の清洗劑と共に、蛋白質、中性脂肪分、及び最近桃谷硏究試驗部で發見完成した美容上最も有効な植物性の粘液素、次に淸白作用と言つて皮膚の新陳代謝の作用を活潑にし、段々と垢ヌケするやうにする作用の極く盛な原料、斯ういふものを適度に配合して製へた品ですから、其効果も遙かに從來の洗粉に優り、皮膚を洗ひ淨めるばかりでなく、皮膚を柔かに滑かにし、美しい光澤を添へ、容貌の美しさを增し、更に續けて使へば次第に垢ヌケして色を白くする美容上の効果が完全に備はつてゐて、それに香の美しさ、使ひ心地の快さまで、すつかり行屆いたものであります。殊にこの洗粉は、氣持がよい襟色が純白なので、一寸見ても他の洗粉と大分違つてゐる事がお分りになります。定價は小袋八錢、大袋十六錢、發賣元は桃谷順天館ですが、美顏白粉を賣る凡ての化粧品店等に賣つて居ります。皆樣、この御內意に依つて謹製した洗粉はどのやうな洗粉でせうか、採くお試しなさいまし。乾度皆樣のお氣に入るが一つ殖えます。

豫報 京城測候所 十七日正午[illegible]

[illegible]元山魚市場附近に碇泊中十日午後三時同船長原籍三重縣志摩郡神島村小久保三次郎（三十）は吐瀉と下痢にて苦しみたる結果死亡せるより元山警察[illegible]町龍田醫院に入院中なりし同船員原籍高知縣幡多郡白高村久保清松も十一日午後二時疑似虎列拉患者として直ちに府立傳染病院に收容するに至[illegible]元山里第二魚市場のみにて[illegible]の水揚げをなさしむる事となせり（元山）

釜山入港對馬丸二等客（一等甲月[illegible]）、澤村房吉、兒玉殿一、井上治[illegible]つや、松田彥三郎、森菊枝、松村正政、金[illegible]保左一、自方より柴崎[illegible]十五日夜は新羅丸停船につき缺航す

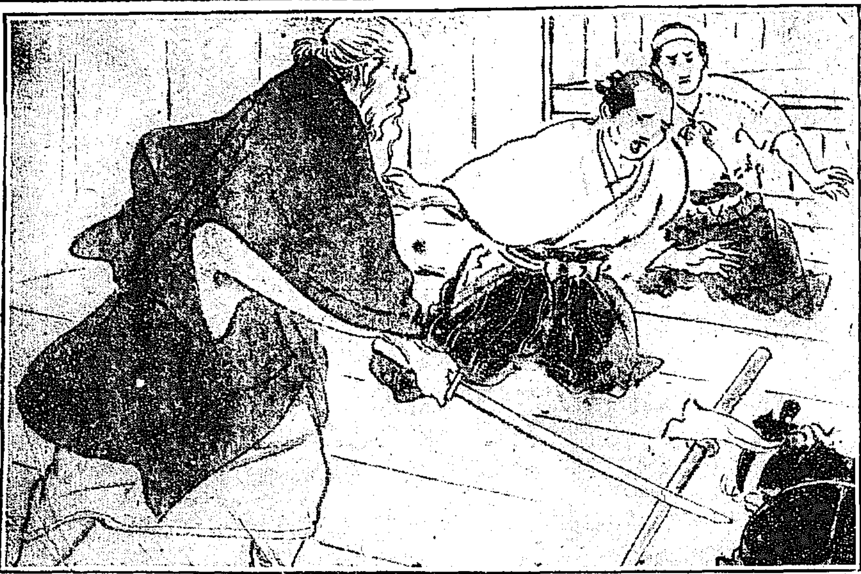
[illegible]一週間以內に到着發見通告者には五十錢券を呈す（但何番何號と明記に限る）

宮本武藏

第百八十九回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

宮本二天は竹刀を提げて其處へ立出る二『サア何誰でも宜しうござるから是へ出て私をお打ち下さい』一人其處へ出て○『此方は高野藤六と申す者、イザ相手をいたさう』二『手前は劍術遣いではございませんが只打れるのもつまらない譯、それゆゑ據う遣つて竹刀を把りましたが、素より何も知らぬもの其のつもりに願ひます』藤『何でも宜しい、サア打つから覺悟いたせ』と右の竹刀を振冠つたエイと一聲叫んで打下して來るをヒラリ二天は身を開いた、空を打つたが又打込んで來るをボーンと一ッ受けて置いて、藤六の頭をピシリ打つた藤『まゐつた』二『是は私が勝ちました、物のはづみで勝を得たものでさア御代りを願ひます』又一人代つて其處へ出で『此方は清水八兵衞と申す者、手荒いから其のつもりで』二『ヘエ結好でございます』エイと打込んで來るをボン／＼と二ッばかり受けたかと思ふと八兵衛の頭をポカリ打つた八『まゐつた』二『へ／＼おまゐんなすつたので、それならお後をお早く』人を馬鹿にした奴だと赤其處へ出たのを、他は打ずして頭をポカ／＼打つので、入れ代り立代り出る者も／＼頭を打れて痛だらけになつた。〇『拙者は瘤を二つ儲けました』△『手前は四つ瘤を拵へました』〇『それは鼠個の四瘤といふのでございませう』△『素見しちやア叶けない、サアもう出る者が無い、處へ恰度戻つて參つたのが道場の主赤川勘左衛門、道場が騒がしいから覗いて見ると、見慣れぬ者が二人來て門弟と立合をして居る、出る者も／＼其處へ打什される、勘左衛門は揣り兼て道場へ入つて參り 門弟『コレ／＼門弟共『コレは先生お歸り』○『コレは先生お歸り』此奴等は江戸の者だが、吾々共が稽古して居るを見て平凡だの形無しだの青面だなぞと惡口を申しますから、道場に引入れまして以後の懲戒引叩いて遣はさうと思つて立合さした處、殘念ながら反對に吾々が打れました』勘『ウーン左樣か』と向ふを見て勘『お前達は何だ』曉『手前は儒者の曉雲と申すのだ、今其處へ出て皆さんの相手をしたのは畫工の二天といふ者で』勘『何に儒者に畫工だ怪しからんことだ、年甲斐もなく他人の塲道を覗き込み惡口を吐くなどとは沙汰の限り、此方の門弟を打据られて見れば此儘には踏されぬ、勘左衛門が代つて一と手立合をいたさう』曉『宜しふございますお相手をいたしませう、二天お前の持つて居る竹刀を俺に貸しなさい』二『宜しうございますか』曉『あゝ宜いとも、道賤者と立合をするのに心配は要らん、お前は五六人を打据ねた、處で俺が此の赤川といふ先生を打込んだならば先生だけに一人でもお前と五分／＼になるであらう』○『先生、あんな事を云つて居りますせ、貴下を打込むと云つて居ります』勘『怪しからん奴等じや、サア門弟衆此の兩人を拙者が打込んで見せるから其處に居て見て居なさい』と勘左衛門は被て居る羽織を脫ぎ捨て鉢巻襷袴の股立を取上げて、遣ひ慣れたる竹刀を取つて 勘『サア參れ』曉『イザ、手前がお相手いたす』勘『他流試合は手恐いから左樣心得ろ』曉『素より承知でございます』と右の竹刀を取つたが年は老ても水野日向守勝成の曉謙、戰場生殘りの剛の者、殊には眞影流極意に渡つて居る腕前、勘左衛門は大上段に振冠つて彼が構へたを見て 勘『フン此奴却々の遣ひ手である、是は油斷は出來んはイ』と思つたが然し勘左衛門も一流の指南番後へ退く譯にもならん、暫くは双方睨合てエイヤッと氣合を懸けて居りましたが、如何なる隙があつたるか勘左衛門此處ぞと思つてヤッと一聲叫ぶ聲と共に打下したる竹刀は磐石も碎くる勢ひ、アワヤ打れるかと思へば曉雲ヒラリ身を轉じ持てる竹刀でハッシと受止め上段下段と打合ました。



十月十八日九星
舊九月廿二日 戊子
本命九紫 南滿 赤口

▲九紫● 彼此と爭手主務の事有日新事見合西方は吉昭劍南▲一白● 文辭觀活用心の日新事手控へ萬事は吉一切判ずせぬがよし▲二黑● 盛運の日韓居入學金件名弘求職棟上採鑛婚禮財産機械業等皆吉▲三碧● 祭祀の日轉居旅行入學名弘造船婚禮金件水利應用業等萬吉▲四綠● 談よき日轉居入學等皆吉女子學藝により立身出世を爲す大吉辨の日也▲五黃● 宮殿築園の日男子は美婦に就き女子は望外の良緣を得る等萬事進で吉徐人來る▲六白● いやな事有日新事手控へ萬事は吉播生に注意せらるべし▲七赤● 偏屈な事有日新事手控へ萬事は吉女子は行儀を守らるべし▲八白● 福の神の出る日轉居入學求職名弘採鑛建築嫁娶取金融業等萬吉

十月十九日九星
舊九月廿三日 戊丑 本命八白 艮平先勝

▲八白● 身嗜のたらぬ事有日謹で新事見合東方は吉賭劍艮▲九紫● 向上の日轉居入學金件名弘家作求職田漁婚禮蒸汽利用業等皆吉▲一白● 口舌百出の日新事手控萬事は吉保紹紹介等を禁ず▲二黑● 引商羅義の相談有日注意新事手控萬事開業は妨なし▲三碧● 小難を意味する日一言半句も忽諸にする勿れ新事手控常の事は吉▲四綠● 思はぬ散財を醸さんとす注意新事手控萬事樹を植るは吉▲五黃● 桴倒れとなること有日新事手控萬事土工は妨なし▲六白● 義理よき日轉居開業入學名弘求職採鑛婚禮試驗を受る等萬吉▲七赤● 逝れなる日轉居旅行入塾名弘求職金談婚姻取特許出願等は吉物に勝の日

わきが患者は
直ちに試みよ
△今は治療に絕好の時期▽
自宅にて人知れず安全適確にわきがの病因を療滅する事實驗全治感謝狀に照し顯著なり一日も早く惡臭を一掃し清淨になられよ詳細は東京本郷西竹町本郷順天堂に照會せば無料にて回答す

レウマチス
飲ずに治る家傳藥有健全幸福を望む方は二錢切手封入照會あれ說明書進呈す困る方役場か警察の證明で只進藥す
東京深川門前山本町 吉田家

月やく
月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法速に御知らせ致ます
東京神田錦町三ノ一九 境田けい子

秋の胃病
赤痢、コレラの黴菌も強壮なる胃液の鹽酸に逢へば忽ち滅殺せらるゝから胃を強壮にして置くが何よりの豫防法で之が醫學者の言ふ胃液の殺菌力である、然るに秋は日中暑くして朝夕涼しく氣候の變動甚だしき處へ夏の間に弱りたる胃は胃液の作用も不十分で兎角胃腸病が多いから何をせずとも健胃の用心が肝要で其れには五大軍醫合議製劑の胃活……善は急げ、今直ぐに

胃病良藥

定價（胃活錠）拾圓、壹圓、五十錢、廿錢（胃活）壹圓、六拾五錢、四拾五錢、廿五錢、拾錢
請賣 全國及海外要所の各藥店にあり
本舖……東京……大阪……山田安民藥房

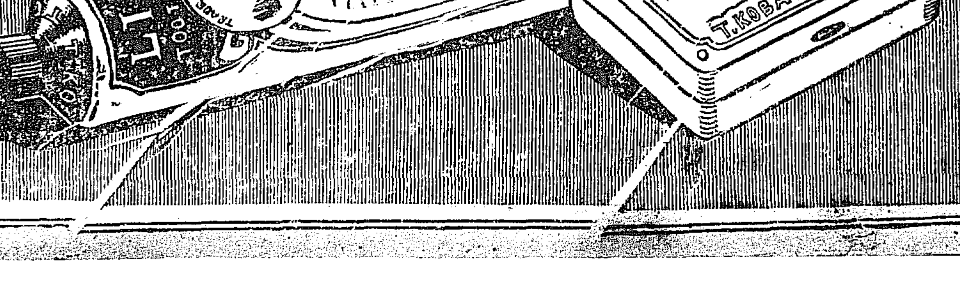
捕鳥用カスミ網 製造
小鳥用六分目三尺棚二棚三間半貳圓半五間參圓半七間四圓廿錢其他網具一切
東京市下谷區北稻荷町五十五
電下谷二九九二 振替東京二九六六
小木曾商店製網部

直治 スグ
効のある目藥 水
トラホーム其他眼病諸症に特効あり
價十錢三十錢（點眼器付）
本舖 大阪 東京 丹平商會
各藥店にあり

新時代の要求に適合する
ライオン煉歯磨は、
旅行勝ちの紳士や
交際の廣い淑女の
無二の愛用品となりました。

ライオン煉歯磨は、斯道に於て卓越せる獨得の技能を有する技師が、長年の貴き經驗と嚴密精細の注意とに基き、十數度の工程を經て漸く精製したものですから、其品の優秀なことは、今更申す迄もありません。

本舖 東京 小林富次郎
(5—612)



使へば……使ふほど
目に見へてメキ／＼と美くしく
ホンノリ色白くなる
レートフード
平常の……身嗜みとして
厭味のない隱化粧に天下一品
東京 平尾贊平

汽車

京釜線	南行	北行
[illegible]	[illegible]	[illegible]

京城日報

第三版

十七日朝刊　夕刊と合せて十二頁

朝鮮總督の新任

我帝國の朝鮮統治の大方針は、明治天皇の御稜威に依り、神武未曾有の盛事なる日韓併合の大業を斷行し給へる際に確立せられ、其大御心は、明治四十三年八月二十九日を以て煥發せられたる詔書に明である。乃ち一視同仁を以て、新附一千二百萬の生民に臨せられ、牛馬を綏撫し給ふといふ聖慮に基きたるものであつて、此大方針は今上陛下に依りて繼承せられ、又萬代に傳へられて不易のものである。從つて朝鮮總督の更任に依りて、此大方針に毛厘と雖も動搖を來すが如きことは、斷じてある可らざるものである。然し乍ら統治上に於ける政務機關、は固より此大方針に據りて、設けられたるものではあるけれども、政治は活物なれば活物に應ずる活機の存するありて其間自ら微妙なる作用の存する生きたる組織であるからして、其人に依り、運用上に寛猛緩急共に宜しきを制せねばならぬのは當然のことである。故に後任總督の如何は朝鮮在住の内鮮人に取りて、直接に被る利害甚だ大なるものがあるのである。然し寺内前總督が内閣を組織せられたる今日の場合必ず適當なる後任者を推薦せらるゝ事と安心して居つたのであるが、果然東京電報は長谷川元帥の朝鮮總督就任を報じ、吾々の期待をして空しからしめなかつた。長谷川元帥に就いては朝鮮は最も深い緣故を持つて居る。元帥が曾て軍司令官として、伊藤公と共に朝鮮に駐在し、日韓協約締結の圓滿なる結末を告げしむる爲めに、直接間接に勳功の大なるものありたる事は、世人の記憶に新たなる所であつて、殊に一般の朝鮮人にも其本領人格は熟知されて居るところであつて、京城の長谷川町は乃ち元帥が其の當時の官邸の所在地たりし緣故に依りて命名されたのである位で、其の閲歷緣故ながら總督として最も適任であらう。更に又元帥が純然たる軍人であつて、政治的黨派の色彩を全然持つて居られないといふ一事は、今日の場合朝鮮の爲めに利益とし幸福とせねばならぬ所である。近來中央政界に於ける政黨政派の關係に因する政爭は、益々激甚を加へ、延いて地方に及ぼし、[illegible]する處、甚だ寒心に堪へざるものがある。然し内地の如く、百揆擧り、萬務緒に就きたる今日に於ては、實際人民の被る禍害は自ら之を免るゝの方法もあるけれども、朝鮮の如く百事草創の現狀に於て、一度政爭の餘波を受くるが如き事あらんか、萬般の進歩發達に障害を及ぼし其禍の波及する所圖るべからざるものがあるであらう。吾々は長谷川元帥を新總督として迎ふるに及んで全然此種の憂より免るゝを得たるを喜ぶのである。それ許りでなく、大に吾々の意を強ふすべきは、多年寺内前總督を補けて、政務の統一に一臂の力を添へたる山縣政務總監が、依然として任に留り、引續き長谷川新總督の下に、政務を見らるゝ一事である。乃ち吾々は寺内前總督と最も能く意思の疎通ある長谷川新總督を迎へ、且つ朝鮮各般の事情に精通せる山縣政務總監を通じて、總督更任の爲めに、何等の動搖をも惹起せしめらるべき理由を持たないのである。朝鮮の如く統治上に特殊の用意を必要とする處に於ては、今回の如き狀態を以て、總督の更任を見る事が出來たのは、一千二百萬新同胞の幸福は勿論のこと、實に邦家の爲め、慶賀に堪へざる次第である。吾々は斯くの如き心を以て、長谷川新總督を迎へんとするものである。

新總督と民心

子爵　趙重應氏談

前後六年間朝鮮に在任し誠心誠意朝鮮の開發上に盡瘁し内鮮人の區別なく所謂一視同仁の施政方針を以て終始一貫したる寺内總督の轉任説の傳へらるゝ每に

△斯の如き良總督 が若し風説の如く事實となれば朝鮮に對する施政方針も從つて變るなるべしと隨分杞憂を抱くものもあつた樣だが今度愈々事實として現はれたので一部民心には多少動搖を感じたが寺内伯は總督の任は離れたけれども帝國國政機關の首腦たる内閣總理大臣に就任したることを聞き寺内伯が首相の印綬を帯びて居る以上は朝鮮に對する施政方針も格別の變更もなかるべしとて自ら其杞憂も消れた樣である實に東洋多事多端の際

△寺内内閣の實現 を見るに至りしは特に吾々の幸福とする次第である、而して其後任としては長谷川元帥の親任を見たが元帥は伊藤統監時代に朝鮮駐屯軍司令官として多年朝鮮に居たる關係上朝鮮の事情には頗る精通し且つ當時軍司令官として軍事以外の事にまで公私共に朝鮮の文化の開發に深甚なる同情を持つて居られたのであるから斯る因緣を有する長谷川元帥が寺内伯の後を襲ふといふことは定めて

△衆情洽然歡迎 すべきであらう新任總督を迎ふるに當り内鮮人を問はず苟も朝鮮に緣を有するものは寺内前總督に對し一層感謝の念を深くすると共に長谷川新總督の施政方針に對し第二期の好運を吾人は期待して止まないのである。

新任朝鮮總督　元帥　長谷川好道伯

剛毅嚴正の人

陸軍參將　李熙斗氏談

長谷川元帥を以て朝鮮總督に任じたる事は當然の事だと思ふ特に元帥は前年朝鮮駐剳軍司令官として朝鮮に在りて朝鮮官民間に親友知己も多きのみならず

△非常に人望が あつた元帥は剛毅嚴正であるが人に對する時は常に和氣洋然たる態度である然し一度怒り出せば萬夫をも屈服せしむる氣慨がある元帥は曾て近衞師團長として在任中其時は日露戰爭前の事であつたが露國の黒鳩公將軍が日本觀察の爲め來朝し或日參謀總長大山巖公と共に長谷川元帥を訪問したので時の參謀總長大山元帥の席に居つた黒鳩將軍は元帥の堂々たる威風を眺めた後大山公に對して何といふ將軍であるかーと問ふた大山公は此の將軍は日清戰爭に一旅團の兵士を以て、旅順の堅塞を陷落させた猛將だと答へたので黒鳩公將軍は舌を捲いたと云ふ逸話もある余は昨年御大典觀兵式に參列の爲め東上の序でを以て

△元帥を私邸に 訪問して敬意を表したるが其時余は近日寺内總督の内閣組織説が盛んに傳へらるゝから若し寺内内閣が成立すれば閣下は多分朝鮮總督の任に當るでせうと問ふたすると元帥は莞爾として六十六の病軀を以て斯の如き重任を如何に堪へませうと語つたが果せるかな今日元帥は總督として來られる樣になつたのは重々朝鮮民族の爲めに賀す可き事だと思ふ

朝鮮の古城郭（六）

八木奘三郎

（四）歷代城郭の變遷（承前）

又箕準城の條に曰く

在龍華山上俗傳箕準所築故名焉、石築周三千九百尺、高八尺有溪有泉井。

勝覽には箕準城に對して『俗に傳ふ』と記せり、されば其の俗傳たることは勝覽の記者已に之を云へるなり、然るに後世却て其俗傳を異傳の如く考ふるは豈に笑ふ可きの至りならずや、蓋し朝鮮の地は箕準當時は猶更にして、其後と雖も城郭は皆な土築のこと、石築の風は未だ起らざるなり、去れば此沿革史上より見るも石城の當時に存す可き筈なく、又其位置の如きも斯る高山の巓に築く例は未だ嘗て之れあらざるなり、以上述ぶるが如く、箕準の東遷は事實ならんも、益山の古城は後世の築造に相違なく、萬一準が數千人の部下を率ひて來りし爲め、他に城郭を築きたりとせば、丹は右の山城にあらずして今日王宮坪、王宮等の地名を存する平野若くは小丘地と見るが穩當なる可し、但し其塔所在地の土居は後世の荒廢、石塔を存するの外、他に確證を得ざれば、是を以て箕準城に當ることは猶ほ考慮を要するを得ず、斯く論じ來れば箕準傳說と城郭との關係は全く斷絶する次第なるが、然らば右の關係以外に、現在の箕準城と稱するものは何時頃の築造なりや此出遊城を解決することは又一の必要條件なる可し、予は斯く認むると同時に其位置、形式、築造材料等の上より推定して新羅統一後の城郭と斷ぜしも、猶他に證左を得んと欲して更に三國史記を再讀せしに圖らずも左の如き記事を見出せり

新羅神文王四年の條に曰く（卷八）

四年冬（中略）十一月、安勝族子、將軍大文在金馬渚謀叛、事發伏誅、餘人見大文誅死、殺害官吏、據邑叛、王命將士討之、逆闘幢主逼實死之、陷其城、徙其人於國南州郡、以其地爲金馬郡。

文中箕王逼實の文字は人名なるや否や意味不明なるも、其安勝の族子大文なるものが叛き謀て誅せられし一味徒黨のもの鱗起して、邑城に據て叛旗を翻し、更に神文王將士を派して之を降せし、しかば、遂に其城を陷れしことは確なるが如し、而して此文中に見へたる金馬郡の城郭こそ恐らく今日の所謂箕準城の原を爲しものならん、蓋し三國以後は山城の制所々に起り、專ら險要に據りて敵を禦ぐ風を生ぜしが、其原因は一に攻戰の法、即ち戰術、兵器等の發達と二は大軍會戰の事例多くなり行きし爲めとにして、之を防ぎ、之を攘くは所謂天險利用の道こそ最も經濟的にして且つ安全を保つ所以なりしなる可し、去れば箕準城の位置に就ては殆んど時疑惑を容るゝの餘地なきも、其石築は果して當時の儘なるや否や、予は此點に就て聊か斷定に躊躇せざるを得ず、何となれば後世の城郭中、彼の都城の如きすら猶ほ土居を以てして、石築は極めて稀有の實例を示せばなり、然れども右の詳細を論議せんと欲せば徒らに長篇に渉る恐れあるを以て茲には一の疑問を存し更に三韓以來の分を記述することゝなせり

▲訂正　本稿第十四回[illegible]

内鮮人の同化（二）

高橋　峻（寄）

新日本魂を作れ

我朝鮮は新政施行以來僅々六箇年を閲するに過ぎずと雖も、其物質的進步の著大なるは何人も驚嘆せざるを得ざるべし、然れども吾人は更に精神的方面に於ても亦内地人より最も貴重なるものゝ一を與へられん事を翹望す、其は即ち日本魂なり。日本魂とは何ぞや義俠心、貞操、信義、清潔、寛大、勇猛、敏活等そが包含すべしと雖も要は溯然なる忠君思想に本づき君國の爲めに鴻毛の輕きに比し一命只君國の爲めに獻さんとするの信念是なり。之は由來鮮人の最も缺乏を感ぜしところにして兩民族の盛衰今日あるも、吾人の說を俟て初めて知る所以なり。陛下の赤子なるべきにあらざるべし。今日の鮮人は已に日本國民なり、また昔日の鮮人にあらざるを以て我國家の基礎を鞏固ならしめんとせば昔日の如き鮮人にては前途寒心の外なしと云はざるべからず。此千五百萬の鮮人は我國には數に於いて決して少しとせず之れをして悉く日本の有力なる人民たらしめんか日本は世界的經濟に於いて從來に比し更に倍加の實力を得べく此一事は決して等閑に附すべき問題にあらざるなり。今日既に國民的教育を受けつゝある各學校生徒が業を卒へて社會に出づる頃に至らば彼等には日本魂的人物を出す可きは吾人の信じて疑はざるところなるも、其は極めて少數にして斯くの如きは長日月を俟つにあらずんば普偏的効果は容易に收むる能はざる可し、吾人は更に進むで之を壯年にも將た老年者にもより速かに普及せしむ可き工夫なかる可からず、是は社會的教育に俟つ可きものにして、新聞雑誌は無論宗教、文藝に社交、演劇に有ゆる方面に於て之が教導の方法を講ぜざるべからず。余は過般鮮人間の著書を調べたるに新書籍と云はゞ概ね野卑なる小説類のみにして、精神的に日本魂を紹介するが如き書物は一つも發見する能はざりき。斯ては日鮮人同化の遲々たる所以を決して偶然にあらざるを感ぜざるを得ざりき例令著者に在りても譯文を以て烈女孝子に至るまで之れを讀み得る樣或は日本の人情風俗の美點、或は歷史物語等を揭げて不知不識の間に感奮憧憬の念を起さしむ可きもの、若しは或は講演談話會にも忠誠奉公心を鼓舞するに足る可きものを主とするが如く其他幾多の方法あるべし。要するに悪風を除去し美風を助長せしめ日鮮同化に資する事業は内鮮人の先覺者に於て夙に計畫せらるべきものにして若し今日の如く之れを等閑に附して顧みざらんか依然として呉下の阿蒙たるを免る能はざる可し。

新酒

ー五の日十の日會吟ー

○新酒わく甕の燒瘤　黄丘
○新酒船積出潮雲動く　虎耳
○新酒勢に立値踏ン張る　何平
○新酒賑やかさ隣子張ふ　芳草樓
○新酒灯あかるしのぞぼさけ　坡柳
○新酒酌みこぼし酌みこぼす　鳥堂
○仕切判新酒の杯を倒しぬ　目池

日報詩壇

○悼在全州吉賀存照　小林　峻山

黄花紅葉染霜風。唧唧庭陰鳴彳虫。忽聽蕭蕭完山地。愁雲深鎖路西東。

評曰　擗踊哭泣之狀如覩

○閑暮會席上

鳥聲醉霜西小門。雙雙意氣白昂軒。雄未決燈淵日。醉在黄花紅葉村。

評曰　詩亦有老將決皆之槩

○讀淵明集　安永　春雨

南山佳色映吟樽。松菊芳盛荊滿園。淡泊君開一派。花紆餘韻杜詩源。

評曰　沖澹雅正又是陶公餘流

○登高　栗原　華陽

遠上山巓紅葉明。菊花開處一瓢傾。世人知否登高趣。滿眼秋光別樣清。

評曰　起承清麗

○月下蟲聲　安東　峯雲

蕭蕭城北少人行。草底凄凄流水鳴。半夜露寒殘壘月。啾啾唧唧送秋聲。

評曰　凄絕

○風雨渡漢江　高井　椿堂

遠山忽滅暗前灘。驟雨斜風過客寒。笠破篷穿舟不進。魚龍處處躍狂瀾。

評曰　妙在寫實

○題觀瀑圖　西田　白陰

千尺珠簾樹杪懸。寒雲冷露逼吟肩。俗中洗盡人間熱。但覺飄飄身欲仙。

評曰　冷氣噴湧

大阪三品特電

▲十六日前場　十月限　一六五、四〇　十一月限　一六三、八〇　[illegible]　一六四、[illegible]　一六三、三〇

仁川米豆取引所

▲十六日後場　[illegible]寄十四圓八十錢東京十四圓六十錢大阪[illegible]十四圓八十五錢後場八十九錢の入電にて當地仁川米不申中十二圓三十二錢[illegible]

▲下げ止り乎　[illegible]

▲の大商内　[illegible]

▲全大に賣る　[illegible]

▲⊕續て買ふ　[illegible]

▲現物界　[illegible]

本紙定價　[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介
京城大平通一丁目　發行所　合資會社　京城日報社
電話番號　[illegible]

早稲田大學講義録

全部刷新課目增設

第一號出づ

主なる特典
本大學無試驗入學
上級編入及入學金免除
大學圖書の無料閲覽
夏期講習會無料聽講
卒業及修業證授與
發行圖書の割引購求
成績優秀者に給費す

速に入學せよ　ハガキにて申込次第　見本つき規則書　直に無料進呈す　入學金全免

政治經濟科講義　法律科講義　文學科講義　早稲田中學講義　早稲田商業講義

總長　大隈侯　名譽學長　高田博士指導　最新最良の獨學機關

申込所　東京牛込早稲田　早稲田大學出版部　電話番町　三七四　二四二三　春季秋季開始　隨時入學せしむ

日韓書房　新版報告
姉崎正治著　法華經行者日蓮　定價一圓三十錢　送料十八錢
芭蕉翁全集　定價一圓五十錢　送料十四錢
本多日生著　日蓮主義　定價九十五錢　送料八錢
前田慧雲著　力の生活　定價八十五錢　送料十錢
青巒居士著　人生の快樂　定價一圓三十錢　送料十二錢
京城本町二丁目　電話一四一・五五一　振替口座一一五番

巡査養成講義
巡査は内地臺灣朝鮮外國に就職▲目下各方面募集▲本講義は斯界大家講述青年在郷軍人の福音▲本講義習得せば受驗確實◉會則進呈◉東京四谷區坂町　文官巡査看守養成學會

好評忽再版
文部省[illegible]　田所美治先生題辭　佐々木政吉先生著
手数のいらぬ新らしき　珠算の秘訣　定價五十錢　送料四錢
本書は從來の計算に要せし時間の十分の一を以て簡便正確に加減乘除檢算法金利計算其の珠算問題に正に[illegible]に應する如く答へ得る秘訣也
（四版）佐々木先生著　暗算計算法秘傳　定價金五十錢　送料金四錢
京城　振替　大阪屋號

◎聖上陛下御禮電

畏き邊にては十六日閑院宮殿下に對する露國皇室の深甚なる御歡待を聞し召され御鄭重なる御親電を同國皇室に宛て御發送遊ばされたり(東京特電)

◎日英對獨貿易協定論

倫敦タイムス『日本號』社説

倫敦タイムス日本號の社説に於て日本の貿易と其繁榮とを論じたるが日本人毛織物業者が獨逸の貿易を英國の商業圏内に奪ひ去らんが爲め英國の當業者と連絡を求めんと苦心せる旨を陳べたる後曰く日英兩國民間に於ける斯の如き連絡は相互利益の爲め其範圍を擴張するを得可し英國の貿易は政府の保護に依賴する事日本のそれの如く多からずされども今や一般に緊頓せるを以て英政府は此方面に對しより多くの助力を與へ得可し日本の官憲は此連絡の成立に極めて熱心なるを以て若し貿易に關し日英政府間に何等かの協定を作らば日本は從來忍び來れる商業及び産業上の種々なる不便を除去せんとする努力の上に之が爲め一層確然たる態度に出づるを得べし(倫敦電報)

◎内閣々議開會

十七日は内閣々議定例日なるも新嘗祭に相當するに付一日を繰り上げ十六日午前十時より内閣に於て開會寺内首相を始め各大臣參集各相より所管事務の報告ありたる後政務數件を議了し午後一時過ぎ散會せり(東京特電)

◎倉富上院議員

貴族院議員倉富勇三郎氏は豫て辭表提出中の處十六日聽許されたり(東京特電)

◎辭令

十六日左の如く辭令ありたり(東京特電)

光州地方法院木浦支廳判事 前田英一
補大邱地方法院判事
公州地方法院判事 切山篤太郎
補京城地方法院判事
公州地方法院判事 江藤爲久
豫審係を命ず
公州地方法院清州支廳判事 坂口喜助
補公州地方法院判事
平壤地方法院新義州支廳判事 熊島英作
補京城地方法院仁川支廳判事
公州地方法院洪城支廳判事 神保信吉
補平壤地方法院新義州支廳判事
咸興地方法院會寧支廳判事 稻垣長七
補公州地方法院洪城支廳判事
咸興地方法院判事 奥田勝太郎
補咸興地方法院會寧支廳判事
大邱地方法院判事 藤堂景吉
依願免本官
朝鮮總督府鐵道局副參事從六位勳六等 岡部國平
叙正六位

◎李王家御祝電

李王家にては十六日午後長谷川元帥總督就任の公報に接すると同時に新總督に向つて祝電を發せられたり

◎政務總監祝電

長谷川總督新任の公電十六日午後零時總督府に達せるより山縣政務總監

◎舊新朝鮮總督を送迎す

伯爵 李完用氏談

▲寺内伯を送る 寺内伯は内閣を組織して首相の印綬を帯びた爲め遂に朝鮮總督の任を辭せられたが其の後任は長谷川元帥に決して十六日新任式を御擧行あらせられた、既往六年間寺内伯が總督として朝鮮の統治に盡瘁された功勞は感銘措く能はざる處であつて此の好總督と別れる鮮内の民衆は誠に痛歎號哭に堪へぬ次第であるが就中伯とは特殊の關係に在つた吾々貴族に取つては惜別の情更に切なるものがある、然し乍ら今回の事は實に國家の爲めであり且つ伯自身に取つても此上なき榮轉であるのみならず、朝鮮から首相を出したといふことは即ち朝鮮の榮擧であるを思ふたならば吾人は私情を擲つて歡送の誠意を致さなくてはならぬ。

▲新總督を迎ふ 長谷川第二世總督は曾て軍司令官として永らく朝鮮に駐劄せられ政變に際しても一方ならぬ功績を擧げられた許りでなく御在鮮當時に在つては吾々貴族一同は勿論有ゆる方面の人士に於いても公私共に多大の御世話を蒙つたものである從つて朝鮮には極めて關係が深くまた鮮内の事情にも精通されてゐるので若し朝鮮總督の後任は何人を希望するかといへば上下齊しく長谷川元帥を需めて止まなかつた事は貴社に於ても御推察の通りである然るに吾人の希望は遂に叶つて長谷川總督の御就任を見るに至つたのは朝鮮將來の爲め誠に慶賀に堪へぬ次第である、要するに上下を擧げて惜しむだ寺内前總督は遂に去られたが後任の總督は吾人の切望を遂して長谷川元帥と決定したのは洵に愉快の極みである。

▲慶福並び臻る 茲に於て吾人は寺内前總督を歡送すること〻長谷川新總督を歡迎することの二つの喜びを一時に遂た譯であつて之れを邦家の全體より見るも將た朝鮮一個の爲めより見るも何ともいへぬ目出度いことである、世上には長谷川總督の御就任後は從來の政策に多少の變化を來すことを豫期する者もあるそうであるが、斯樣なことは吾々としては云爲す可き範圍でないけれども寺内伯と長谷川伯とはその性格を異にされてゐる以上若干の相違は或は免かれぬかも知れぬ、然し朝鮮の統治は結果民庶を慰撫し産業を開發するにあるのであるから邦家の爲めに在職の期の悠くまでも久しからむことを切望するものである

◎地方經濟狀況(十)

仁川商業會議所調査

▲忠南牙山郡地方

▲稻作● 本郡は地味肥沃と云ふにあらざるも郡の中央を東より西に貫流する曲橋川ありて此の一帶及び新昌、牙山、附近は土地平坦にして耕地面積頗る廣く農産物の産額少しとせず稻は移植後に於て降雨連日に及べるため河水氾濫し沿流水田の約三分の一は池水の浸す所となり苗代の流失を見たるも數日ならずして全くの植替を了せり然しながら之れが爲め生育遲延し幾分の不安を抱かしめたるが八月に入り天候快晴復し發育良好なるに至り但し本年は雨量豐富にして高地畓の植付までも充分ならしめたりとは云へ天候兎角陰欝勝ちにして莖葉徒長し分蘗期に於ける日照り充分ならざる結果結實歩合を減少せしめたるが如し然し降雨潤澤なりし爲山間部に於ける生育頗る良好にして畓に比し些の遜色を見ず場所に依りては以上の成熟を呈せり要するに本年は降雨過度に依り水田部に於ける生育につき多少の被害ありたるも其程度僅少なりしと反別の増加と相俟つて昨年に比し三割強増收の見込なり

▲麥作● 播種後の雨量適順にして發芽狀態頗る良好なりしが六月下旬より七月に入りての降雨過多にして著しく結實を障げたると收穫當時に於ける多量の降雨に依り昨年に比し三割を減收せり

▲大豆作(豆類)● 五月下旬迄でに於て大豆の播種を了し六月に入り降雨度合順調なりしため生育良好にして反付の増加と共に昨年に比し四割方の増收を豫想せし折柄八月に入りての降雨過多に失し著しく成熟を障げたるに加へ其後兎角天候陰欝にして結實充分ならざるため昨年と大差なき收穫ならんと云ふ最近の市場は在來の米穀と麥作の不況さに依り市況更に見るべきものなく相場の如き白米斗力十六錢玄米十一圓四十錢小麥七圓六十錢籾を圓五十錢位にして前月に比し幾分の低落を見たり新米の現はるゝに及び市況自ずと活氣を帶び相場も亦た漸落の傾向を呈し居れり內に地方は最早や天安方面の商人に依り落々として賣買契約を締び居れるが如し

▲重要物資集散狀態● 本郡は西に仙掌獨湖北に白石浦、屯浦の四港を有し東三里にして天安驛を控ゆるが故に農産物の搬出に便なると共に移入經路容易にて他郡の如く搬入路につき少しの不便を見ず而して移入品の大部は仁川より仕向けられ仙掌を經て移入せらるゝもの約三分の二を占め天安よりするもの之れに次ぐ、白石浦、屯浦等より入るもの舊牙山附近の需要に充てられ仙掌より入るものは新昌、溫陽等の需要に充てらる、要するに本郡は鐵道に依り南部に向け配給せらるゝ移入經路の發達至便なる爲め郡內のみならず近隣の市場に於ける移入貨物の殆んど皆無なる市場に依り郡內各市場共閑散の如き狀態なり八月に入り米穀類の出廻りを見ると共に市況自ずと活氣付き穀類を主とし各物資の取引漸次旺盛の期に向ひつゝあり

▲金融及び經濟狀況● 今春以來米價の下落に伴ひ經濟狀態不振にして引續き六七月に及び所謂夏枯閑散期に入れると霖雨續き道路の泥濘に伴ふ貨物の出入不便なる爲め郡內各市場共殆んど休止狀態に陷り資金の需要更に起らず從て資金需要を喚起し貸出二千餘圓の增加を見るに及べり而して本月に入り新穀出廻期に入り財界の繁忙に赴かんとするを呈するに及び逐月財界の繁忙に向はんとせられつゝあり

金利 個人營業者 最高日歩四錢 最低日歩二錢 金融組合 最高日歩三錢 最低月利一錢半

◎九月京城商況

米穀大豆は端境期に入りたることゝて品薄を告げ出廻少きのみならず內地市場軟弱のため活氣を呈するに至らず且つ米價は前月中の仁川期米大受渡終了等のため五六十錢の低落を見なしたるも尚內地相場に比して割高なれば玄米移出は引合はざるも白米としては京阪地方に多少の出荷を見たるもの、如し而して雜穀も新物の出廻を目前に控へ荷動遊勝の狀を呈し牛皮は端なくも新軍需品代金支拂の件にて引受行惱を生じたると未だ出廻りの時期に至らざるため取引不味となれる物は寄月以降諸物價騰貴し其大宗たる綿絲布の如きは前年同期に比し十二三圓前月に比し約一割高の昂騰を爲し一般購買力の減退を來し市場商況不振の爲め沈滯を持續し來りしが下旬に入り雜穀の新物漸々出廻るを見ると共に冷氣早至りの爲め綿布類の賣行好望を示すに至り漸々滿洲向米穀輸出も相當の荷動を見其の他諸雜貨の賣行も良好にして商況次第に活況を呈し來れり尚秋季收穫を終らば當地每年の例により商況一層引立つべき見込なり今京城稅關出張所に於て取扱ひたる本月中當地貿易額を見るに之を前月に比すれば輸移出に於て十一萬六千餘圓を增加し輸移入に於て六萬九千餘圓の減少を示せり更に之を前年同期に對比する時は輸移出に於て十八萬二千餘圓を增加し移輸入に於て十五萬三千餘圓の減退を示せり

◎元山より

▲繩叺檢査と大豆 元山商業會議所に於て久しき以前より施行しつゝある繩叺檢査規則は過般評議員會の席上鳩首凝議の末遂に之れを一時撤廢する事に決定し同時に其善後策として全般的施設に關し當局に對して備さに陳情するところありたるは既報の如しそもそも元山會議所をして當初繩叺檢査規則を施行せしむるに至れる原因は曾て元山貿易品中大豆又は米の輸移出に際し一時包裝の粗惡なる爲め亂俵より來る減量の粗惡なるを理由として之れが損害を辨償せざるのみか甚しきは顯然取扱ひの粗漏より生ぜる損害と雖も包裝の不完全なるに藉口し以て辨償を免れんとし爲に出荷主の不利迷惑は勿論取引上非常なる煩雜を招きたるより遂に之れが防禦策として大豆及び米等の包裝に用ふる繩叺の品質に制限を加へたるに外ならず斯くして繩叺檢査施行後に於ては運送業者は運送中減量に對し悉く其の損害を負擔せるのみならず內地の購買者は荷造の完全なるに信用を措き安心して現物の受授をなしたる爲め一層元山大豆の聲價を向上せしめ今日に至れり

▲寒心すべき奸策 然るに近時交通機關の整備するに伴れ昔時の如く貿易は單に海運のみに依り行はるゝに止まらざるを以て獨り元山に限り繩叺に對し嚴格に檢査を行へばとて他地方より無檢査の粗惡なる繩叺の入り込み來るべき間隙の存するに至れるを如何せん例へば文川及び安邊地方より無檢査の叺を搬入し來り甚しきは他方面の粗惡なる大豆を混入し元山より移出を圖り購買者を欺瞞し以て暴利を貪るの奸手段に出づる沒道德漢あり之等は只一時的のものにて永續すべからずと雖も折角久しきに亙り苦心の結果得たる元山大豆の聲價を失墜せしむるや明かにして寒心すべき事に屬す且つ最近に於ては比較的不完全なる包裝をなすも妨げざる肥料又は鑛物の如き貿易品の增加著しきを以て之等の總てに對し檢査を行ふは煩雜いふべからず加ふるに十分なる効果を擧ぐる能はざるの恨みあり故に斯る煩雜なる手數を省き大豆又は米等の包裝に用ふる繩叺のみに對し且つ北鮮全般に亙り取締を嚴格ならしむるに如かざるは自明の理なりとす

▲焦眉の問題 今や將に米、豆出廻時期の切迫したるに拘はらず前述の理由の下に元山商業會議所が止むなく撤廢したる繩叺檢査規則に代ふる唯一の方法は目下元山會議所が當局に對し要求しつゝある如く又昨今咸南道廳に於て企劃しつゝある如く總督府より前年發布されたる米穀檢査規則に準じ適當の場所を選び檢査機關を設け大豆の品質に依り等別を附し一定の相場を建て其取引を簡易ならしむると同時に之れが包裝の改善統一を圖り以て內地市場に於ける聲價の向上に努むるは之れ實に北鮮貿易政策上焦眉の問題たらずんばあらざるなり(未完)

◎朝鮮產繭移出旺盛

朝鮮產繭の內地移出は繭價の高値なると朝鮮に於ける養蠶家の盛況に伴ひ本年の仕向け高非常の多額に上り九月末を以て一段落を告げたる模樣なるが一月以降の累計移出高は百四十萬三百五十八圓に上り昨年の六十八萬九千圓に比すれば七十二萬圓乃ち二倍以上の激增を見居れりと

◎東拓新殖林計畫

東洋拓殖會社にては咸鏡線文川方面の國有山野三千町步內外の植林計畫を樹て其の貸附を總督府に出願中なるが農商工部山林課にては係員を同方面に派し其の調査を行ひつゝありと

◎土地調査委員會

臨時土地調査局にては來る十一月七日より十六日までに左記各郡及び島嶼に關する地方土地調査委員會を其の所屬道廳に於て行ふ由にて目下總務課に於て諸種の準備を進めつゝあり

▲京畿道 水原郡、島嶼(富川郡島嶼)
▲忠清南道 保寧郡、瑞山郡、唐津郡(三郡共島嶼)
▲全羅北道 南原郡、任實郡
▲全羅南道 靈岩郡、潭陽郡、長城郡、靈光郡、海南郡

哈爾賓より(第四信)

翠花

數の統計は人の評判と天氣豫報と連袂して當てにならぬ天下の三拍子たれども試に浦鐵線より東清線へ聯絡せる輸入貨物を品別すれば大正四年のそれが

	品目	價格
第一	麻袋	[illegible]
第二	金屬同製品	[illegible]
第三	綿織物	[illegible]
第四	生糸	[illegible]
第五	卷煙草	[illegible]
第六	藥品類	[illegible]
第七	石油	[illegible]
第八	絹及絹織物	[illegible]
第九	セメント及石灰	[illegible]

等にして米は之に次げる八千七百十八噸、價格百二十四萬九千五百四十八圓として第十位の主要品に列せり然り米は第十位の輸入品たり、然れども一粒の微と雖も敢て他鄉產の侵犯を許さず絕對獨占の權威あるに於て大に我が朝鮮の氣を吐けり、さあれ好事魔多し、支那防穀令に累せられて現在滿洲線を經由し來る米は哈爾賓以外に輸送する能はず浦鹽經由のもの丶み哈爾賓を通過して遠く露領に輸入せらる、頗る矛盾の感あれど見過すこともならぬと當惑されては勸進帳なくては叶はじ、乃ち協信洋行を首め當地十軒十四名の全米穀取扱商に依りて新に組合を組織せられ五名の委員を設け統一行動を以て此難關を突破せんとし、今戶吉次郞氏の手に起草せられし陳情書を明日頃其筋へ提出の筈とかや、我が朝鮮のため切に其達意を禱らざるを得ず。

哈爾賓市中に消費せらるゝ糯米は年額約四萬石見當にて價格の關係上京仁精米は一合だも輸入せられ居らず、鎮南浦の新井氏を主とし馬場氏及び新義州安東縣より全額を供給せらる。

露國戰時輸入禁制品の追々增加されて十一月二日より奢侈品の一切禁遏せらるゝは兎も角我が貿易上の痛棒たり、生絲もいけず、漆器もいけず玩具もいけず、シャツ類の絹緞せるも罷りならぬに就て我等が携行品も大牟カマイツンの運命とや(十一月十二日)

◎京畿道恒例會

京畿道廳にては道幹部及び勢務部幹部長官室に十六日午前九時より會同し一般事務及び其他に關し打合せを爲す所ありたり

◎橘三千三氏露國行

前文部大臣秘書官橘靜二氏令弟橘三千三氏は浦鹽露國高等商業學校日本語教官に聘せられ赴任の途次入京十六日夜出發露國へ向ふ

◎東京建物支店長着任

東京建物株式會社京城支店長大賀龜吉氏は十五日南大門驛着列車にて著任せり又同支店長より同會社天津支店長に榮轉を命せられたる岡田三郎氏は來る二十二三日頃出發赴任すべし

南言北語

▲其後懸案未決の儘になつて居る日支實業借款案は何分にも激烈な反對があるので結局は廢棄の外致方なからうとは情ない話だ▲併し袁總統は其善後策として獨立辨法を取る相だから何とかなるのだらうが其に就ても合點のいかぬは米支借款の運河浚渫費三百萬圓問題だ▲抑と云へば少し固くなるが千八百九十八年三月六日の日獨支間に締結した契約は最う忘れられて居るものと見ゆる▲が、此方では大丈夫忘れて居ないイヤ忘れて堪るものか▲膠州灣鐵道鑛山租借及び投資條約第三條に山東省に於ける新企業及び有利的事業に對し外國人の出資或は補助を仰ぐの必要ある時は先づ之を獨逸商人に諮すべしとの規定がチャーンとある▲其れから昨年五月日支間で締結した山東條約で日本は獨逸の有せる權利一切を繼承して居るから上記第三條の權利も無論日本に移つて居る事は誰でも解り切つて居る▲然るに這般支那政府は山東新企業の借款に對し日本へは何の音沙汰もせず米國資本團より借るなんて之れやあ大分解らぬ話だ▲日本政府から質問書を送つた相なから何とか御挨拶はあるべき筈▲日露親善と共に露西亞語の最も必要な事は誰でも知つて居るが▲知つて居りながら日本人の露語と來たら心細いものである▲過般の日露條約發表の時に東京の某紙が露語で祝文を掲せ▲第一面の題字の下へ立派な露語で『諸君よ、此の新聞を凡ての必要なる場所に配布されたし』と書いた▲一見なる程大出來だが露西亞語で『凡ての必要なる場所』とは便所の事で大使館などでは一同腹を抱へて笑た上▲今でもチャーンと便所の一隅に其の新聞を保存してある相なオヤ〳〵

□附錄

本日再築落成號附錄四頁

五龍背溫泉より 大塊
○○○○○
薄紅葉の庭前百舌鳥の聲高し月出で給ふ影や五龍の山光る

醴泉

▲虎疫豫防注射 大邱に虎疫猖獗を極めをる爲め……

……が雨天の爲め妨げられ豫定の如く捗らざりしが遲くも本月末まで完成す

……邑內は漸次發展の緒に就き目下內地人戶數六十六、人口百九十一特に商……七十錢を上下しつゝあり

西湖津

▲九月沿岸貿易 咸南……も增加となり更に之れを前月に比すれば移出二萬二百六十圓を增加し移……

……助所有の漁帆船三隻は西湖津漁港を根據とし專ら海鼠の採取を營み其他……

◎鮮銀支店員運動會

朝鮮銀行仁川支店員一同は十七日午……

……に十二日三名の疑似虎列拉新患者を出すに至れりその一人は當時元山大……果疑似虎列拉患者と判明するや直ちに各々元山府立傳染病院に收容せり

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
青年雄辯活法	澁川忠雄	一、二〇
マドロスの悲哀	太刀雄	八〇
三角法要義	松村安次郎	一、二〇
和譯梵漢妙法蓮華經	伊藤滿徹	一、二〇
帝國六法全書	有斐閣	一、七〇
最新普文受驗準備書	判文纂成會	六五
信用及擔保貸付論	深萱宗助	一、二〇
西洋中毒	遠藤吉三郎	一、二〇
戰後の經濟政策	服部文四郎	八五
イソップ物語	柵山正雄	三、二〇
日本債權法總論	鳩山秀夫	一、八〇
高等文官試驗問題集	綱紀會	六五
刑事訴訟法論	林頼三郎	三、二〇
斷食療法と其實効	宮原立太郎	六〇
日華實用言語集	坂上雄將	一、〇〇
朝鮮語學捷徑	佐藤銕堂	五〇
朝鮮古蹟圖譜	總督府	一、五〇
民事訴訟法原論	細田一郎	四、五〇
法律學說判例要旨類集 第四卷		五、〇〇

京城本町二丁目 電話一一六六番 振替京城二四五四番 日韓書房 巖松堂書店

◎競賣入札
一、硝子、瓦、棒類八點
一、テルビル電話機外拾五點
詳細ハ十月十六日本府官報ニ在リ
朝鮮總督府遞信局

琴古流 尺八樂譜解說 一部卅錢 郵稅二錢
琴古流 尺八樂譜 目錄希望者は要郵稅二錢
東京小石川區大和町 尺八教授 水野呂童

糖 燐 酸
人生の快事
▼百二十五歲と云へば
▲大隈侯を聯想する如く
▲燐酸を服用すれば
健康長壽の基礎を成す
▼論より證據
左記の如き御方は先づ二三ケ月飲用して御覽
○腦病胃弱 ○心臟衰弱
○貧血病後 ○腎臟衰弱
○中風脚氣 ○不眠便秘
○食慾不進 ○血液不順
糖燐酸は一日分僅か四錢で精力旺盛となる
人生愉快ならずや
本舖 大阪市東區高麗橋二丁目 百年堂
發賣所は全國有名藥店 振替大阪五九一〇

京日案內
普通一回前金三十錢 番外一回前金六十錢 一回名一圓以上五錢增
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

店舗讓り渡す 本町通二丁目最上の場所業都合により有姿儘讓渡す(姓名在社) 540

金融 月收の方に極秘信用貸便宜立替等御報伺又は直接來談を要す 本町電車終點花園町 部質屋大和屋 539

◎醫師代診生一名入用 希望者は苑南洞(總督府醫院通)德永醫館內迄申込あれ 535

▼朝鮮各道別地圖 卅萬分一 各一道十錢 京城本町●振替貳參●ウツボヤ書店 427

記者及外交員採用 希望者履歷書携帶來談あれ 月收五十圓以上確實 花園町一二 中央金物新報支社 536

◎金融 月收の方へ極秘信用融通 便宜立替御報伺又御來宅 大和町三ノ三二(納濱前) 起木屋 537

◎古本熱心高價買入 是非御試驗を乞 電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆群書堂 437

◎古本高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 446

番外

礦物定量分析 京城府太平通(朝鮮公論社左小路) 坂元分析所 電話一三四四番 538

勸業債券高價買入致します 貯蓄債券其他地方は當方へ郵送次第代金差上ます 京城長谷川町五八(朝鮮銀行橫) 日本勸業銀行債券月賦販賣所 541

廣橋自働車 京城春川間每日午前八時出發 京城春川間自動車賃金片道四圓 南大門通一丁目 電話一二九番 主務 金正淵 428組

立替資金 恩給年金受領の方へ 並に公債債券質買 仁川山手町六丁目通 仁川朝鮮社內 會田 453

▲ほね筋たがい、肉ばなれ、さし込 ▲乳ばれ、歯いたみ、せん氣、婦人血の道、神けい痛、もみ療治にて骨つぎ等致します ▲京城養州通り二丁目六一 氏原內廣瀨あさの 492

毛刷 ブラシ 製造 京城大和町一丁目(日出橋角) 岩崎商會 494

恩給年金 月利壹分即金立替 確實掛引なし秘密嚴守 京城若草町中央郵便ポスト前通 西村商會 497

第二十四回決算廣告

資本金 參百萬圓
積立金 參百貳拾八萬餘圓

貸借對照表

貸方

科目	金額
株金	三、〇〇〇、〇〇〇
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
海上責任準備金	[illegible]
運送責任準備金	[illegible]
火災責任準備金	[illegible]
陸上支拂備金	[illegible]
運送支拂備金	[illegible]
信認積立金	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂再保險料	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
利益金	[illegible]
計	[illegible]

借方

科目	金額
未拂込株金	[illegible]
現金	[illegible]
郵便振替貯金	[illegible]
定期預金	[illegible]
當座預金	[illegible]
貸付金	[illegible]
有價證券	[illegible]
地所家屋	[illegible]
備品	[illegible]
未收保險料	[illegible]
支店出張所	[illegible]
代理店	[illegible]
假拂金	[illegible]
未決算勘定	[illegible]
未收海損金	[illegible]
共同海損金	[illegible]
計	[illegible]

損益勘定

收入

科目	金額
收入總額	[illegible]
前期責任準備金	[illegible]
同上支拂備金	[illegible]
計	[illegible]

支出

科目	金額
支出總額	[illegible]
差引殘金	[illegible]
當期責任準備金	[illegible]
同上支拂備金	[illegible]
差引	[illegible]
當期殘金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]

當期益金處分スルコト左ノ如シ

科目	金額
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
役員及社員賞與金	[illegible]
株主配當金(年一割)	[illegible]
株主特別配當金(同上)	[illegible]
次年度へ繰越金	[illegible]

前記之通相違無之候也

大正五年十月十日

日本海上保險株式會社

常務取締役 右近和作
取締役 近藤喜祿
同 八木千之助
監査役 中村三之丞

取締役補欠ハ右近權左衛門右近福次郞監査役補欠ハ馬場道久當選シタリ

森嚴なる前夜祭

神靈神輿に移御あり　南山社頭神燈一時に滅して

夕靄に包まれた南山の翠松の間に美しう織り出された楓の葉に照り映ゆる

▼神の灯淸らかに　七時から齋戒沐浴したる齋員一同神殿の裝飾にかゝれば八時前には全く終つて八時になると齋主齋員參列員一同參列、先づ大麻を執り鹽湯を執つて神輿、神饌、齋員、參列の諸員、輿丁等を祓ひ終れば谷村齋主昇殿し恭しく御扉を開き奉り次ぎに神饌を献ずると同時に更に進んで大祭前夜祭御靈代

▼移御の祝詞を奏し　玉串を捧げて拜禮すれば齋員一同之れに次いで列拜して之れにて神饌を撤し神輿を本殿階下に搬入するを俟つて燈火を一時に滅すれば齋主昇殿して御靈代を奉じて神輿に移し奉り右終ると燈火を點じて齋主以下一同參列

▼諸員拜禮を終り　神輿警護係を除く外一同退下したのは九時だつた

▼賑つた角力　景氣のいゝ煙火

午後八時前夜祭の行はれる前から參拜者は續々と詰めかけ折柄前夜祭參列のため出頭した氏子の人々と共に京城神社の境内は雜沓したが之れと同時に夕景から前夜祭の餘興として社務所上手の廣場には紫の幕張り廻した土俵が築かれ、各町内有志の素人角力、黄金町武德部員の奉納擊劍、劍舞、氏子有志の博多仁輪加等が見ゝと輝き渡る孤燈の下に開催されたので參拜の老若男女の之れを觀やうと集まつてくるので頗る賑かだつた、東亞煙草、鍵屋等が奉納した煙火が景氣よく打上げられる、角力も擊劍も十一時過ぎまで盛んにやつて見物も減らず市中の各町では各戸献燈を點じて頗る賑かだつた

▼神輿發幸　十七日午前十時

今十七日は午前八時京城神社にては齋主齋員參列員著床し大麻司は大麻を執り鹽湯を執りて神饌齋主以下諸員神輿神幸供奉の諸員を祓ひ夫より神饌幣帛祝詞を献じ次に齋主以下玉串を捧げて拜禮次に參拜者拜禮終りて神饌を撤し奏樂の裡に午前十時愈々神輿發幸す可く其道筋左の如し

▲十月十七日　祭典午前八時　神輿御發幸（午前十時）總督府官邸前、日の出町、日の出小學校前（休息）大和町、新町（午前十一時休息）本町通赤門角（休息）京城府廳前（午前十一時半（休息）南大門通（正午、御休憩）古市町（休息）岡崎町（午後三時）（休息）漢江通三角地（休息）漢江通電車終點、龍山停車場前（午後四時）（休息）龍山橋通四つ角（休息）榮町、旭橋通、元町通本願寺前（休息）次で御旅所着同所御一泊（午後六時）

▲十月十八日　祭典（午前八時）神輿御發幸（午前九時）元町通三、四丁目阪の上（休息）元町通四、三丁目、元町通二、一丁目、元町憲兵分所前（午前十時半）（休息）青葉町（休息）南大門停車場前（午前十一時半）（休息）太平通（休息）京城日報社前（正午）（休息）太平通一丁目、鍾路一丁目（午後一時）（休息）南大門通、明治町一丁目（午後二時）（休息）明治町二丁目（午後三時）（休息）黄金町二丁目（休息）永樂町赤門前（午後四時）（休息）總督府官邸前（休息）本社還御（午後五時）

（上）京城神社前夜祭々場（下）武德會の奉納仕合

朝鮮の眞珠は立派だ

寶冠章には眞珠が鏤められる

——眞珠王御木本幸吉氏談——

世界に於ける眞珠王として名高き御木本幸吉氏は這回上海に於ける支店開設の爲め十六日午後九時著の列車にて入京朝鮮ホテルに投じた、氏は曰く『朝鮮の沿岸では天然眞珠の採れ相な所が見當りません、眞珠は浪の靜かな良海でなければありません併し先年私が

◇曾禰統監から　戴いたものには大きな朝鮮產の鮑眞珠がありました、私は朝鮮に來たのは這回が初めてであますけれども由來朝鮮の貴婦人間には大きな鮑眞珠を用ゐられてありますそれは主に南鮮釜山近海で採れるといふことですが今でも貴族の邸や宮中には澤山所藏されてあることゝ思ひます、朝鮮の眞珠は良いものになりますと一個三四百圓乃至五六百圓の品が尠なからず何れも立派なものでございます、また文祿の役に於て朝鮮王から豐太閤に贈られた軍扇にも多くの眞珠を鏤めた許りの眞珠が鏤めてあり猶ほ又古代の佛像にも附けてありますから古來朝鮮の人が寶玉として

◇眞珠を用ゐた　ことは非常に古代からのことであると思ひます、また日本では桓武天皇の御宇から既に寶玉として用ゐられ現に奈良の正倉院の御物として遺つたものでも一千八百年以前のものと申します、眞珠は元來印度の錫蘭島あたりに於て古代から採集されそれが支那にも輸入されて一方ならず珍重されたものでありますそれで一時は西洋の寶玉商人なども印度支那に古い時代のものを買集めに參つて居りました、而して歐米に於て裝飾用に用ゐられたのは極めて近年のことで歐米の婦人達が眞珠を耳環や首環、腕環等に用ゐる數は

◇實に莫大な者　でございます、また寶玉の相場は歐洲戰亂と共に著しく騰貴して眞珠の値段も亦騰りました、以前は巴里や倫敦の支店で一番多く賣つて居りましたが只今は紐育が主です、眞珠の世界に於ける產地は錫蘭島、墨西哥灣、比律賓、木曜島が主で就中日本はむかしからの著名な產地とされてありますが、而して養殖眞珠の事業は世界に於て日本にあるばかりこの點は聊か誇るべきかと考へます、尤も私が事業に著手したのは去る明治廿三年のこと、當時箕作理學博士から養殖が出來るものだといふ學理だけを伺ひまして始めましたが出來あがるまでには多年の間一方ならぬ苦心を甜めました、只今やつて居ますのは伊勢五ケ所灣志摩國英虞灣の五十七哩

◇毎年三百萬個　のアコヤ貝を放て八年目に採集します、尤も眞珠の採れるのは百個の中に一つ位のもので養殖中の大敵は赤潮と章魚の害です、章魚は貝の外側から穴を穿けて貝を殺すので始末に了へません、這回閑院特使宮殿下より露西亞の皇室に御贈呈相成りたる勳章にも日本の眞珠が用ゐられましたが總て日本の皇后陛下より外國の皇后陛下へ贈られる寶冠章には美しい百八個の眞珠が鏤められてあります、これは優美なる日本の勳章の誇りと申すべきことで此の點は私の無上な光榮と致すところでございます……

朝鮮の基督教の開拓者

逝けるアンダーウッド氏の思ひ出

□多年朝鮮基督教宣教師の耆宿として知られたアンダーウッド氏は今夏米國に歸省中のところ突然病氣のために逝去の報があつた

□アンダーウッド氏は朝鮮に來たのは今から三十三年前卽ち西曆千八百八十四年で、基督教の宣教師として米國から朝鮮に渡つたのは氏が最初である

□其の頃の朝鮮の宗教界は實に荒凉たるもので、京城でさへ基督教の信者は殆んど無かつた、氏は京城に足を踏み入れると同時に傳道演說を試みたが耳を傾ける者は一人も無く、公衆から有ゆる侮辱を加へられたので傳道の困難は實に一通でなかつた

□臥薪嘗膽數年、幾度か絶望の聲を放たうとして血と涙を呑み、有ゆる辛苦を堪へ忍んだ數年の月日は氏の歷史を飾る最も光彩ある頁となつた氏は此間殆んど寢食を忘れて傳道に努めた

□氏の實兄は米國に於て名を知られた資產家である、氏は裕福な家庭に不自由無く成育し友人から幸福者と羨まれた一人で、立身出世の道は澤山有つたのに好んで宣教師界に身を投じたのだ

□宣教師と爲つて間も無く氏は朝鮮に布敎を企てた、是れには實兄も友人も反對したが氏は何しても聞き入れなかつた、實兄から分與さるべき資產も拒げ、幾何かの旅費と旅行鞄を携へて單身朝鮮に渡つたので有つた、

□氏が朝鮮に於て基督教の爲めに貢獻した事は枚擧の遑が無い、朝鮮全道氏の足跡を印せぬ處は無いと云つても好い、全鮮各地の基督教信者は氏を神の如く崇敬してゐる、

□氏の人格は實に謹嚴であるが信徒に對する場合は溢るゝ許りの慈愛を湛へてゐるので信徒は何れも慈父の如く慕つてゐる、此の逝去は宗教界の多大なる損失である。（セブランス病院長談）

第一松花江外まで　我新しき權利の地

四、窰門の市街

十日は早朝に起きて窰門市街の狀況を見る市街は停車場の西方に在る東淸鐵道附屬市街地は南北に細長く二十五萬坪ある停車場前より一番區より五番區まで南北に區劃したる二十五間道路と

停車場道路を中央

にして東西六區に區劃されて二十間道路が通じて居る市街としては實に堂々たるものだが實際は道路なども市街道路の豫定と云ふに過ぎなく石を一つ鋪ではなし下水溝を一尺でも掘つて置く譯でもなく八月頃の雨期に降つた雨水が道の中央に未だに殘つて其頑固つた泥が山のやうに高低に成つて居る唯此の廣い道路の兩側に二筋の板を敷いて步道と定め市中の者は其の板の上を步いて居るが大豆や薪などを積んで馬車は叶恐しい

凹凸した道路の中

を辛じて停車場へ通じて居る、露國人の沿線附屬地の經營は哈爾賓、滿洲里、齊齊哈爾等を除けば皆んな斯んなものであると云ふ話だ、而かも此の驛は東は穆稜河畔より西、農安一帶の廣大なる區域の農產物の集散地で有つて冬期に成ると毎日一千臺乃至二千臺の荷馬車に依つて大豆、及び家鴨、雞鳥、鶏等が十貨車乃至二十貨車不平均に露領に輸出せられるが更に十一月より三月に至る間に於ける大豆の出廻季節に成ると一日の出廻大豆は二千石（支那桝にして一石は日本の一石六斗に當る）に達し停車通及び商北の横道にも亦

山の如く露天積を

し漸次鐵道に由つて搬出する此等の大豆は大抵滿鐵の貨物吸集政策の爲め大連を經て日本內地及び各地に輸出されて居る此の大豆の出廻り期に於ける窰門の人口は市況低かに引立つて常には三千八位しか住んで居らぬ支那商人が急に一萬人位に增加する大きな大豆問屋が十六戸ばかり有る日本人の居住者は二十五戸八十人と外に支那人の妻に成つて居る者が七八人はあると云ふ事だ

二十五戸の日本人

の內で十八戸迄は賣藥商人で殘り四戸は料理屋大豆の問屋が一戸旅館が一戸と云ふ割合に成つて居るが此の土地の將來の發展を見越して長春あたりから移住して來る者が少くない、長春、哈爾賓間の病院、鐵道の第一の大驛で東淸鐵道守備隊本部、警察本署、鐵道守備隊司令部

露國の小學校等も

有る日本人はまだ日本人會もなく凡て長春領事館の巡査が一人でやつて居る驛の食堂で晝餐を取つた露國の各主要驛には皆な食堂に設備が有つて列車內は特別急行の外は食堂は愚か辨當を買ふ事も能きない、驛の事務室に並んだ食堂は可成りに綺麗で有つてゴム樹や椰子などの熱帶地植物の鉢などが窓際に飾られたり卓上には

薔薇や樣々の花の

鉢が並べられて居る、食堂には三十ばかりの露西亞の女が居つたがミルクだのチヨコレート位の言葉さへ通じない女は急に大きな聲をして呼び立てると支那人のボーイが出て來て漸く食事を取る事が能きた東淸線の各驛の食堂には何れも支那ボーイが居るから少し支那語が話せれば食事を爲る位の事は不自由はない食堂から出て驛の構內を步いて居ると露西亞人の茶目が五六人で支那人の百姓と喧嘩を爲て居る見ると子供は皆な燕を持つて

土の付いた奴を生

で噛つて居る其處へ又スコップを擔いだ三十位の露國の工夫がやつて來て突然此の男も支那人の籠へ手を突込んで燕を奪つたと思ふとズボンで一寸土を拭いて其の儘食べながら行つて終ふ（窰門特派員）

[illegible]既に四十名餘の[illegible]しものありなほ四百餘名の申込者あり◇醴榮道路工事　醴泉より榮州に通ずる道路は目下修繕工事中なる[illegible]平野に排水すべく認可申請中なるが認可なり次第直ちに排水口工事に著手すべき豫定なり◇邑內戸口　醴泉[illegible]經濟　市場は[illegible]經過の情態にありて金利は昨年に比し三步の低落を示せり穀價玄米十一圓大麥六圓小麥四圓五十錢大豆四圓[illegible]十三萬七千六百圓[illegible]十九萬二百圓にして前年同期に比し移出九千八百十九圓移入二萬五千二百三十圓の何れ[illegible]沿岸に於ける[illegible]水揚高は約一[illegible]千圓にして鯖、鯛、小鯖、鰈等を主なる漁獲物とす而して元山横山忠之[illegible]販路に就き種々研究中なりと

◎元山疑似虎疫蔓延

元山に於ては既報二名の患者を出したる以來更に新[illegible]虎疫の流行は市[illegible]視察の上同日夜歸仁すべしと[illegible]船水夫木村德松にして他は元山府舘橋洞居住の鮮人獨孤奎（三九）及び元山府山蔡洞李兆洪（三七）なるが診定の結[illegible]に因るものなりと

□本社裝飾燈點火　本社は京城神社大祭中（十六、十七、十八の三日間）毎夜裝飾燈を點火し市中の賑ひと相俟つて美觀を添ふることとせり

◎盆栽展覽會

京城第一流盆栽家の風流雅事の集團たる共樂會にて今回南山本町三丁目京城バザー樓上に於て各秘藏の逸品を出品展覽會を開催する由なるが今回は本年に於ける最初の陳列の事とて、其出品の如き眞柏、杜松、楓、柘榴、草物其他直幹、懸崖物、双樹等殆んど詩趣横溢にして雅趣掬すべきものゝみにて作品頗る多く尚ほ京龍各盆栽同業者側よりも出品非常に多しと

文部省認定教育活動寫眞會

米國バーネット夫人原作　英國キネト會社撮影

「小公子」八卷　二千五百尺　一千七百七十尺

十月十九日（木）同二十日（金）兩日午後六時開場

□會場　壽座

主催　京城基督教青年會

えんげい

▲小公子　米國バーネット夫人原作英國キネト會社撮影の活動寫眞小公子全四卷八千五百尺二十七場は來る十九、二十日の兩日京城基督教青年會の主催にて壽座にて開演すべく入場料は特等一圓、一等五十錢、二等三十錢、三等二十錢なり因みに同寫眞は文部省認定の教育寫眞の由

▲大正館　十七日より新寫眞と差換ゆ其の主なるもの左の如し△實寫宇治川の絶景△喜劇急ぎの軸毛△活捨ザヤがタラの寵術師△探偵活劇冒險婦人全三卷△新派悲劇召集令三卷△舊劇忠僕瀧平全三卷

▲有樂館　吉田菊五郎の水藝が呼び物となりて連夜好評の盛況なる由

▲壽座　市川市十郎一座は愈々十八日を以て打揚ぐべく今回の初日見參に豫想外の大入を取りたる御禮心に一座いづれも大車輪にて勤め居れり

▲黄金館　實錄忍術太郎、探偵活劇アルヤの寶石、新派悲劇女の絆結にて連夜大入なり

▲浪花館　女浪花節日の本三都子藤隊神田伯山一行にて喝采を博し居れり

□定例休刊

明十八日は神嘗祭翌日に付定例に依り本日の夕刊並に明日の朝刊共休刊す

星印ソース

いづれの御家庭にてもソースは星印を御使用です

全國到る處の洋酒罐詰雜貨食料店にあり

星印は品質及び賣行に於てソース界の明星なり

發賣元　大阪市　祭原伊太郎

かつけ　特効新藥

かつけ　特効新藥

陸軍一等軍醫正　ドクトル　都築甚之助氏發見

日、米、獨政府專賣特許

アテヘリン

▼用法は……內服と注射
▼目的は……豫防と治療
▼常用は……萬全の上策
▼注射は……衞心の救急
▼適應は……かつけ一切

定價　粉末百二十入　金一圓四十錢　同六十入　金八十錢　丸藥五百入　金一圓四十錢　同二百入　金八十五錢　注射液　金二圓

說明書送呈郵券二錢

發賣元　東京市麻布區笄町　南信堂藥局

代理店　京城本町二丁目　木下不老堂

解雇廣告

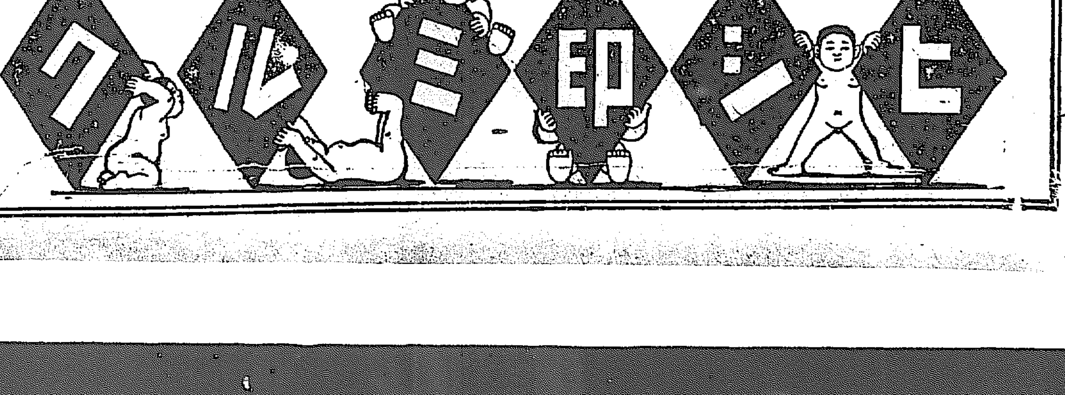
店員　佐々木十太郎

本月十日外出歸宅致さず候に付同時に解雇仕候間自今當店と關係無之候間念の爲め紙上を以て廣告候也

大正五年十月十日

京城南山町二丁目　秋吉富太郎

我が政府の獎勵製品◎製品は常に新しくて非常によい保證の出來る煉乳にはヒシ印商標あり



大阪市　洋酒罐詰食料品問屋　祭原伊太郎

新刊書御案內

正氣堂名刺舖　京城本町二　郵送料無料　電話二九五番振替京城一二八三番

書名	著者	定價
史說史話	本田定一	一、〇〇
我觀南國	山本實彥	一、五〇
西洋中毒	遠藤吉三郎	特一、〇〇
法華經の行者日蓮	姉崎正治	二、三〇
妙法蓮華經	良書刊行會	特九五
徹底論	加藤咄堂	一、〇〇
マドロスの悲哀	平澤大刀雄	一、二〇
愛染集	泉鏡花	一、〇〇
論語と算盤	澁澤男爵	一、〇〇
通俗青年雄辯法	芳川忠雄	一、〇〇
立志成功苦學の裏面	深海豐三	三八
斷食療法と其實効	富原立太郎	六〇
最新野球精通	馬場翠山	六〇
法窓隨筆	北島良治	五〇
家庭講話少年修養百話	永松木長	三〇
ペン習字練習帖	大坂屋號編	一〇
四季手紙の文	中村春堂	六〇
少女手紙の文	同	三〇
少年手紙の文	同	三〇
布石攻合法	中川龜三郎	一、二〇
攻合圍碁必勝法	雁金準一	一、二〇
小倉百人一首標準かるた讀札取札		各四〇

京城本町二丁目　大阪屋號書店　電話四二六八　振替京城二五七

女鳩

渡邊默禪

【一三四】無心？有情？

『どうです、お孃さん。僕の先見どうり寸分も違ひはありますまい。お分りになりましたか』。

大野は玆に到つて得意の笑を禁じ得なかつた。誇つてもよい、十分に誇るべき値打があると思つた。鳩子は何にも言はずに頷いて見せた。

『一切の事實が明白になつた以上はもう疑ひを挾む餘地もないでせう。隨つて思案に迷ふ必要もなければ躊躇する暇もないです。幸ひに慥うい確實な證人もあることですから、今夜のうちにお父樣へ殘らず顛末をお話しなすつて、一刀兩斷の處置をしてお貰ひなさい。ね、爾うなさいよ。源太、君も男らしく懺悔をしたんだから、繰回して今の話をしてくれんかい、一つ子爵に逢つてね、お君の告白が此際何より有力な證言になるんだから……ね、よからう。爾うして子爵の同情ある處置を願つて見ろさ。僕も傍から調停をするよ、君』。

『へゑ、ようがすとも。引合せてお呉んなさいやし』。

源太は怯びれずに慫う答へた。と、鳩子は凝然と考へて

『大野さん。貴君の御骨折や御同情に對しましては、私し何とも申し上げる言葉はありませんのよ。眞實と胸一杯感謝の思に滿されてゐるんです。けれどもね、大野さん』愁しげに聲を顫はして『どうぞお父樣にお詫することだけはお待ちなすつて下さいましな。先刻も申し上た通り最う一遍よつく熟考して見た上でないと、私しに決然した思案が出て來ないんですのよ』。

『ねッ、まだ那麼事を……』。

大野は呆れない譯にはいかなかつた。源太に引合せない前なら兎に角凡ての紛糾も系統も凸面鏡で指紋を見るやうに分明とわかりぬいた今も猶、こんな悠長な歯痒い言を鳩子の口から聞かうとは、實際豫想し得ないとであつた。

銃の修理は多年の經驗と獨特の技工と完全なる設備とを有する 龍山元町二丁目 玉井砲銃工場

『どうぞ爾うさして下さいましな。貴君の御好意を無にするやうで、私し心苦しいんですけれども……』。

『ぢやあ、御隨意になさるがいゝです』。

不滿に堪へないやうに言つてのけた跡で『併し此の源太を如何するですか』。

この間は鳩子を常惑さすべき難題であつた。父に報告するといふ條件の下に於てならば、小屋に同道して父に處分を一任するとも能きるけれど、さもない以上は此處で何とか始末をつけなければならぬ。鳩子ははたと行詰つたもの丶やうに咄嗟の返辭が出なかつた。

『貴孃の考がつくまで此處で待たして戴くんですか。爾うはいかんですぞ、生物ですからね』。

大野はやゝ焦ついてゐたので、故意にこんな皮肉を言つた。と、鳩子は嫺雅に俛せた目を擧げた

『源太、お前、お父さんや妹さんに逢ひたくはないこと？』。

石鹸化粧品 婦人小間物 卸商 月本政次郎商店 京城明治町二丁目 電話二二二八番

『ね、親父や妹に？』。唐突に訊かれた挨拶につかへながら『そりやあ逢へたくないことは有りませんやな。だけどもね、面目なくつて逢はれた義理が……まアく、親父や妹を悦ばせるやうな、何か一つ眞面目なことで成功して、それからでなけりやお逢ひますまいよ』。

『爾う』。道理だと承けた鳩子は更に『ぢやあ、横濱に歸りたいこと。それとも當地に居てへ？』。

『ね、貴孃方が勘辨してお呉んなすつて、歸れと被仰りや歸ります、あの生駒をとつ捉めねて、欺された意趣返しに、既と取ッ詰めて面の皮を引剝いてやりてわんでげすが、それもお差圖がなければ能きねえこつてす。まア御用がなかつたら東京に戻つてから、何とか地道な職業でもめつけて、みいつちく稼ぎやせうよ』。

『ぢやあ、どうぞ爾うして下さいよ。お願ですから……それから、お前、お金を持つてゐて？旅費や職業を始める資本なんか』。

京城大平通二丁目 遠藤商店 電話九八二番

大野はいよく驚かされた。非常の努力を費して辛くも贏ち得た有益の證據物件を鳩子は手もなく投り出して顧みないのである。

新刊紹介

▲大正五年新聞總覽　大正四年版編纂後に於ける新聞雜誌等一般出版界の狀態を網羅し之を二部に分ち第一には我國新聞界の二大勢力地たる東京大阪を卷頭に關東、東北、東海、北陸、關西、四國、中國、九州、北海道及び樺太、臺灣及び琉球、朝鮮及び關東州、支那及び布哇、歐米諸國の順列に從がひ各府縣はアート紙を以つて之れを區別し一頁一社の割合を以て其の創立年月、所在地、組織社內主要人物氏名、政派關係等より機械類及(部)數、購讀料、廣告料其の他各種の設備を詳記し而は或は寫眞を耐し特色を記し以て各社の實情を知ろに便せるのみならず詳細精密なる廣告統計表並撮に於ける各紙の統計比較統計表は各紙の勢力を察知するに無二の好資料たるべし言論[illegible]道の爾源、新聞料紙の研究廣告の美術吸引力等の新業闘係者の觀過すべからざる新聞研究の資料及新聞通信各團體を錄する實に新聞總覽の名を辱かしめざるものと謂ふべきなり(三圓五十錢東京市京橋區加賀町一八日本電報通信社)

▲故郷他郷〔瀧川玄耳著〕黑髮山の麓幼年の思出、鄕韶の三編は著者山村幼時の追憶にして他の二十有餘編は著者が異域逆旅の觀聽に依る氏の諧名を遊びたる所以出隨發あり紀行文あり、人物月旦、批論解評、或は思想を說き或は時事を論ず奇警なる叙鋒は洒脫なる行文と相俟つて、書中の事物悉く躍如す就中江南の思ひ出木天台戰、洪水來る、泰山に登るの四編は文鄕に關する隨筆とし見るべきものにして著者の最得意とせるものなるべし(一圓三十錢東京市神田區錦町一ノ一九誠文堂)

▲立志成功苦學の裏面〔深海豐二著〕苦學に依りて成功せる著者が自己の經驗を經とし一般苦學生活の實狀を緯とし苦學の裏面を率直に記せるものにして漫然苦學によりて成功を夢想する青年の爲さなる事少なからざるべし猶ほ學校二覽著者の生ひ立ちの記を附す(三十五錢東京市日本橋區濱町二ノ一二須原屋)

▲滿鮮實業界〔都督府施政十年記念號〕として滿洲の工業と產業、商工界〔仁武〕滿洲に於ける都督府施政の槪要、朝鮮銀行〔鄕衛學人〕十年間に於ける朝鮮經濟の重要問題を收む滿洲の工業と產業、商工界、殖產業發展等の外女性を中心とせる生活問題鐵道會社、大連市の槪況、運貨問題等を收め〔茅原華山〕公娼は斯くして社會の裏面に葬り去れ〔片山國學博士〕等面白し(三十錢大連市伊勢町八共社)

▲日本之關門〔十月號〕對支放資と資本家の無氣力〔伽羅主幹〕九州地方では若松市が一番有望ならん〔田尻稻次郎〕工場法實施に對する批判に就て〔四條男〕知上の加藤高明〔米澤〕〔米澤實業行脚〕〔錦秋生〕私娼絕對撲滅の私娼〔市場學商館〕等各方面の記事を錄し猶家庭ページの眞劍なる情操偉大なるノロケは小林は女の子の女は生涯獨身で生きる戀を葬ぶべしと對照して味ふべし(十五錢下關市南部町靜嶋社出版部)

讀者の聲

▲虎疫はまだ全滅せぬウカと不注意な事をしてはならぬ一箇月其處等の攝生の出來ぬものには何うも困る(衞生係)▲來月の祝日には何にか賑かな催し物をするのが好い提灯行列でも旗行列でも盛にやるべし日本國中一齊に萬歲を唱へる日だよ市民諸君其の日を祝はん者はあるまい(小國民)▲蠅を取れ蠅は丁度今頃が產卵期である一擧に盡すは今日の時季だ(蠅取生)▲貴社發起で吾々同好の士の爲登山會を發起せられたし希望す(健脚團の一人)▲活動寫眞見の歸りに其處等の橫町表入口の庭園になりをる料理屋に友人と二人づれにて飲みに行きし處あれだこれだと注文もしないものを澤山持ち來り飲め飲めと無暗に進め五圓程費せり是は致方なしと諦らめしも歸宅後三四時間を過ぎしと思ふ頃急に吐瀉を始め家族のものは大に心配する自分は時節柄虎疫にはあらずと神經を病む夜の明けるを待て醫藥を買ひ漸く今日より頭を上ぐる樣になり而して友人の方を聞きしに之れも同樣にて今に頭も上らず臥し居れり時節柄皆樣用心なさい私は幸に豫防注射を二度までせしため眞正にならず濟ましたが何うも腐敗に近いものを概淡へしたらしいのです(桐男)▲お隣りの仁川であれだけ虎列拉が流行したのにも拘らず京城は幸にして多くの患者を出さなかつたことは全く御社や官憲の力であると府民は集ると觸ると感謝の辭を呈して居ます府民の一人として篤くお禮を申上ます(健康な府民)

商況

大阪株式特電

合同紡新	二五、七〇	
鐘淵紡新	二六〇、〇〇	
同上新株	二三八、〇〇	
東洋棉花	[illegible]	

十二月限 一六二、四〇 一六二、四〇
[illegible]

…り三十錢と辷り七錢と返し四錢と押したる三十七錢と返して引先十一圓六十七錢と一錢高に寄付たるも賣物多く三錢と更に新安値に割れた…[illegible]…

▲㊦能く賣る　…押したる後總に七十錢下落と前小刻き散分を營けたり市況は依然買氣旺盛を極めたるも一面に[illegible]…明作日を經へて大に上りたりこの那一面三千餘石の賣ありたり

▲㊥能く賣る　筋場同店より賣りたる玉數五千餘石後場同店は引賣りたる玉數五千石に上り

▲㋷の商內　前場同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたり後場同店より買ひたる玉數四千餘石に上り買玉九月限受渡し米は全部…

▲格付發表　…十錢忠清道大豆七圓三十五錢等にて五百叺許出來たり▲後場中限⑮十二圓三十二錢二錢三十錢平均値段三十一錢⑬三十五錢二圓平均値段三十四錢⑬二十五錢…九錢八錢九錢八錢九錢七十錢六十八錢九錢七十錢

十六日の十二月限 [illegible]二十二圓六十七錢

男の生殖器病

生殖器發育不全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と原因療藥を併用する時は一回每に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の感謝狀が如しハガキで申込めば圖入說明書無代密送す直接來所者には醫院部にて懇切に說明す
▲高評益高き多み大切に偽物有御戒せよ
東京神田かぢ町五 電話神田七二二番 東京眞空療法研究所

榮養ヲ增進シ
精力ヲ旺盛ニス

グリコナール錠

本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇％ノグリコゲーント蛋白脂肪、越幾斯分ノ適量ヲ含有ス

一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ精力ヲ增加ス 百錠金壹圓 ▮各藥舖ニ有リ▮說明書進呈ス

東京室町 三共株式會社

御婦人と男子方の

頭髮を黑く艶かにする

クラブ美髮用ポマード

有名ふ

クラブ白粉本店謹製の最新式煉香油クラブ美髮用ポマードは頭髮の發育を助けて毛を肥やし、毛を素直にして癖を直し、美しい光澤を添へ、切毛や拔毛を防ぎ、フケを去り、頭髮の臭氣を除き、御氣分を爽快にする天下一品の美髮料にして、御婦人にも男子方の御使用にも極めて適當なるが、先年來畏くも

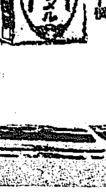
皇后宮職御用の恩命を拜しつゝあり

何より安心

特に此頃は食物の御撰擇が肝心 各位の御健康には是が尤も安全

森永ミルクキャラメル

煙草代用



ポケット用大壯(?)個入十個

弊會社特設の化學試驗部に於ては藥學博士丹波敬三氏藥學博士岡田彌吉氏兩顧問の選定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す

5—18　森永製菓株式會社